

市内循環バスの利用者アンケート及び OD調査の結果について

<目 次>

1	調査の概要	3
2	アンケート調査	4
2.1	配布・回収状況	4
2.2	集計結果	4
3	バス停間 OD 調査	29
3.1	利用者数	29
3.2	利用の状況	29
3.3	利用者の属性	36
4	各ルート of 状況	39

1 調査の概要

市内循環バスの利用者に対して、現在のバス利用の状況や満足度等に関するアンケート調査及び乗り込みによる OD 調査を実施した。

(1) 調査日時

以下の日程で調査を実施した。

調査日 : 平成 26 年 11 月 6 日 (木)、16 日 (日)

調査時間帯 : 平日 5 : 30~23 : 00、休日 6 : 30~22 : 00 (運行時間帯)

(2) 調査方法

対象日の全路線に調査員 1 名が乗り込み、乗車客に対してヒアリングを行うとともに、遅れ時間の確認、アンケート調査票を配布する。

<利用者アンケート>

① バス利用者意向調査

- ・全便全利用者を対象として、返信用封筒に調査票、協力依頼状、市内循環バスマップを同封して配布
- ・郵送回収を基本とする (帰宅時など 2 度目の乗車時に調査員に渡してもらうことも可とする)

<OD 調査>

② バス停間 OD 調査

- ・調査対象日の全便全利用者の乗車バス停・降車バス停等を記録
- ・乗客に対してヒアリングすることにより把握する

③ 各バス停別の遅れ時間の記録調査

- ・各バス停の出発時刻を記録

2 アンケート調査

2.1 配布・回収状況

アンケート調査の回収期間は平成 26 年 11 月 25 日（火）までとした。

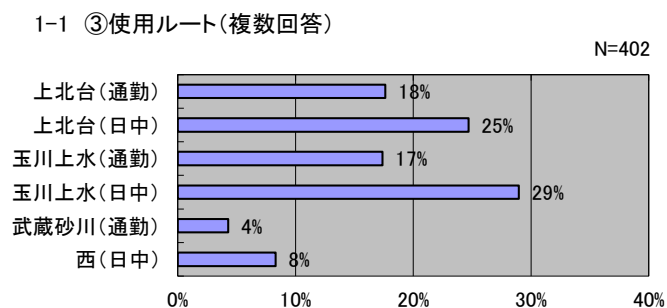
データの集計は、平成 26 年 11 月 27 日（木）までに受領した 397 票をもとに集計を行った。

配布数	993 票
回収数	397 票
回収率	40%

2.2 集計結果

1) 使用ルート

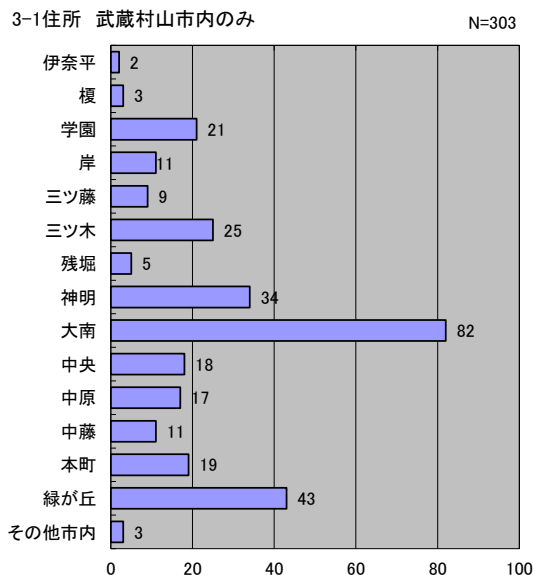
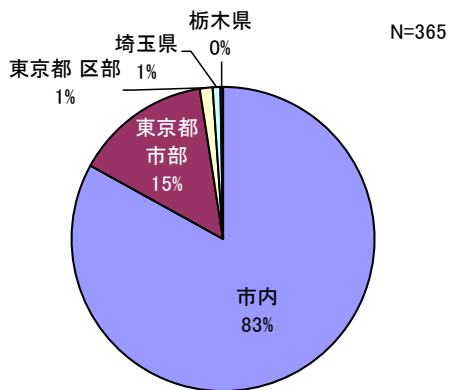
アンケート回答者の使用ルートをみると、玉川上水（日中）ルートの利用者が最も多く、次いで上北台（日中）ルートとなっている。武蔵砂川（通勤）ルート、西（日中）ルートについては利用者数が少ない。



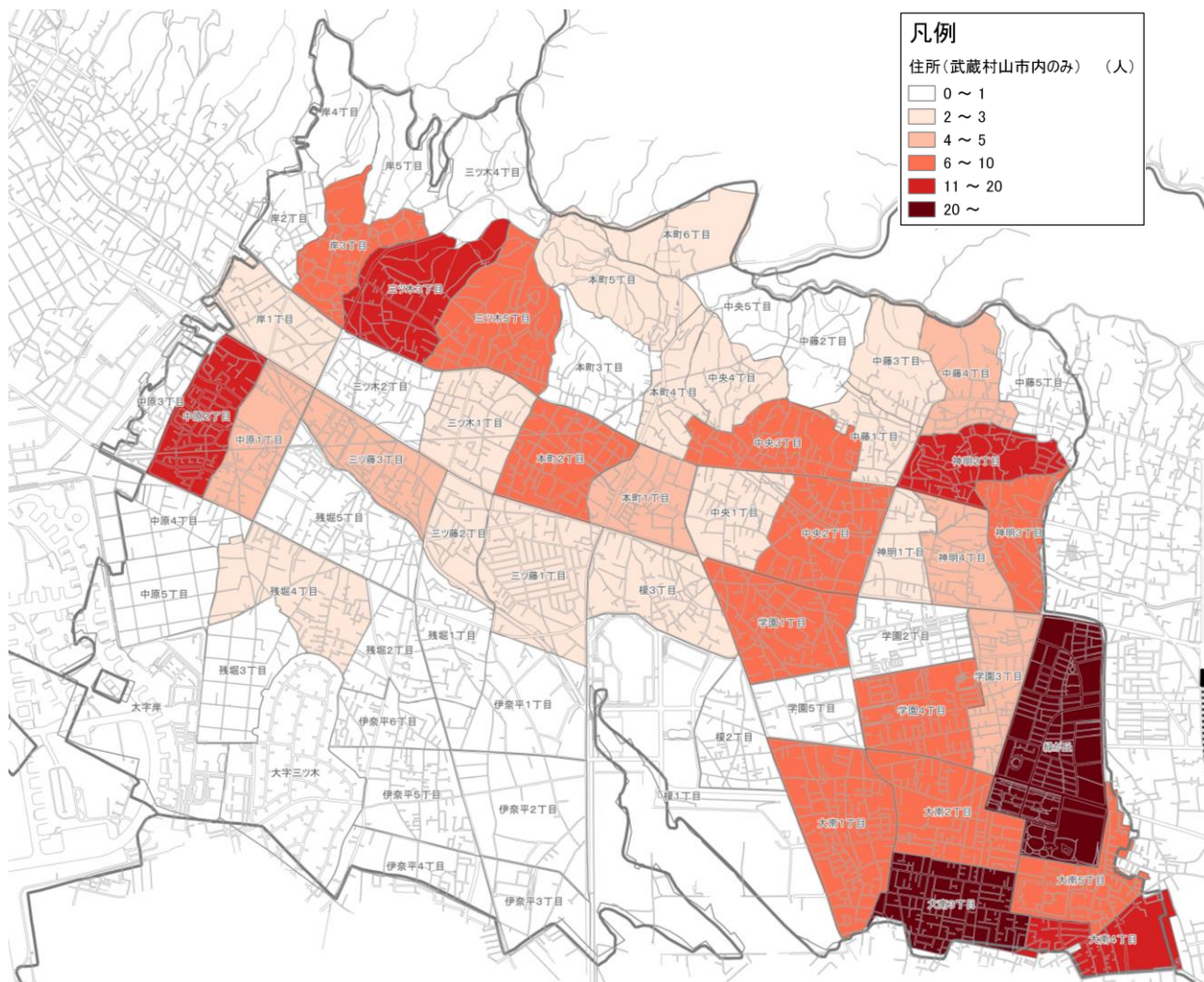
2) 回答者の属性

① 住所

回答者の 83%が武蔵村山市内居住者であり、市内の回答者の居住地をみると、市内南東部の大南、緑が丘の居住者が多く、そのほか神明、三ツ木、学園も多くなっている。



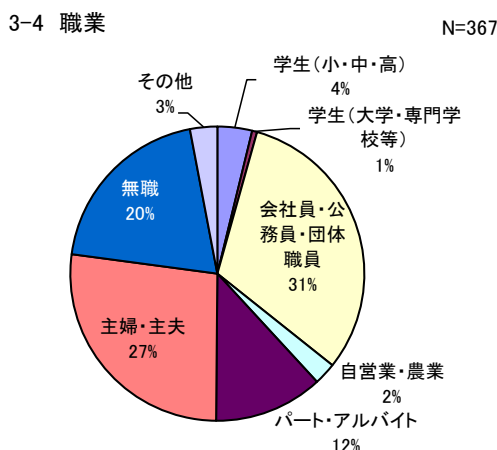
<居住地分布図>



② 職業

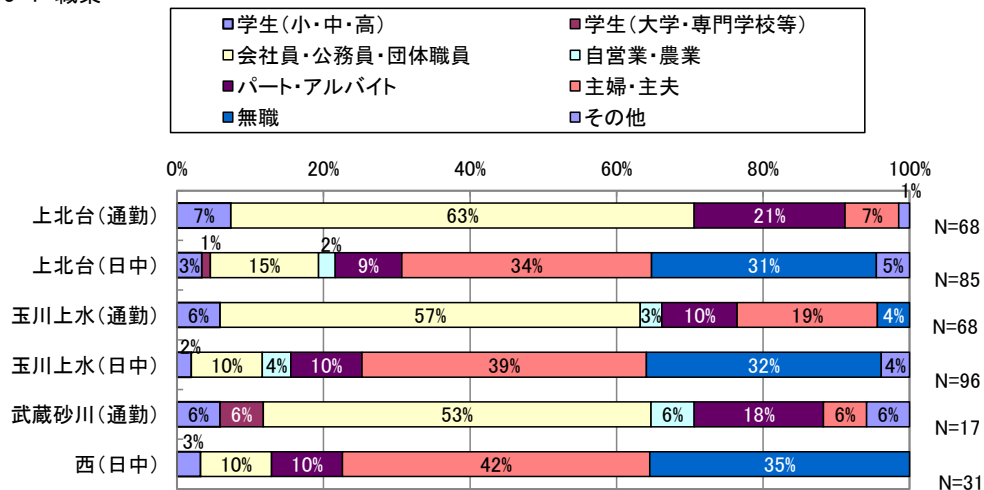
回答者の職業をみると、会社員・公務員・団体職員の割合が 31%と最も多く、次いで主婦・主夫が 27%である。多くが高齢者と思われる無職の割合も 20%と高い。

ルート別に見ると、通勤時ルートでは会社員・公務員・団体職員の割合がそれぞれ半数以上であるのに対して、日中時は、主婦・主夫、無職の割合がそれぞれ 30~40%程度存在する。



<ルート別集計>

3-4 職業



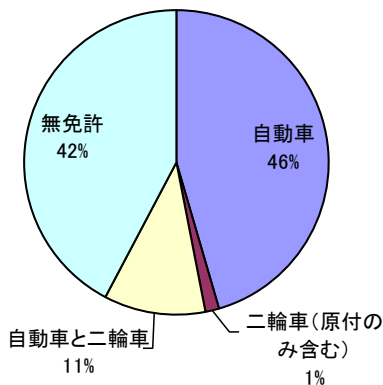
③ 運転免許・自動車等の保有状況

自動車又は二輪車の免許を保有している方が半数以上であるが、無免許の方も 42%と多い。

また、回答者の半数以上が自転車を保有しており、30%は自動車を保有している。一方で、何も持っていない方も 25%存在する。

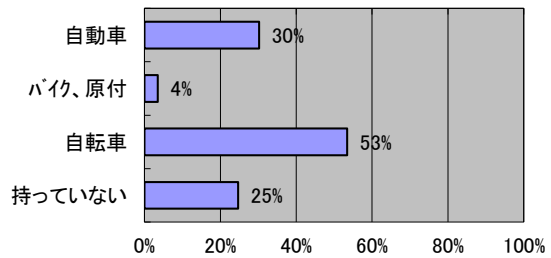
3-5 運転免許保有状況

N=343



3-6 自動車等保有状況(複数回答)

N=397



3) 利用状況

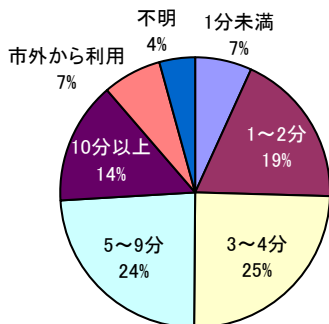
① 乗車バス停までの所要時間

バス停までの所要時間は、10分以内が75%程度を占めており、半数が5分以内である。ルート別に見ると、通勤時のルートの方がバス停までの所要時間が短い傾向にある。上北台(日中)ルートでは、バス停まで4分以下の方は半数以下であり、他のルートに比べてバス停までの距離が長い。

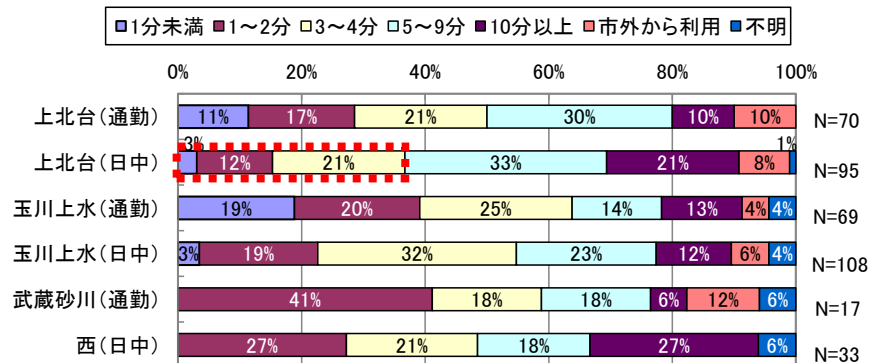
<ルート別集計>

1-1 ④所要時間

N=397



1-1 ④所要時間

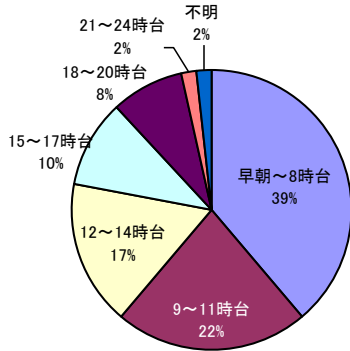


② 乗車時間帯

平日では、早朝から 8 時台までの利用が 40%程度と最も多いのに対して、休日では 9 時～11 時までが半数以上となっている。平日では、21 時以降の利用者もいるが、休日ではみられない。

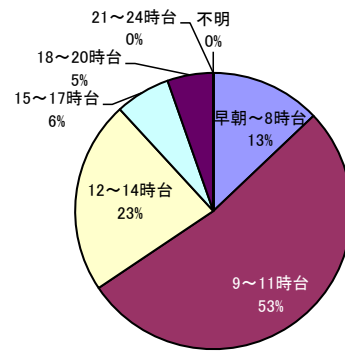
1-1 ⑤乗車時間帯 [平日]

N=286



1-1 ⑤乗車時間帯 [休日]

N=93



③ 目的

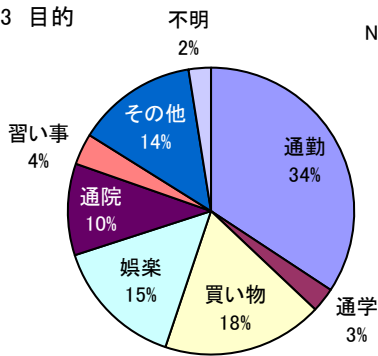
全体では、通勤目的での利用が最も多く 34%である。次いで買い物目的が 18%、娯楽が 15%である。

ルート別にみると、通勤時ルートでは通勤目的が多く 70～80%程度を占めているが、日中時では、買い物、娯楽目的、通院目的が多い。特に西（日中）ルートでは、買い物目的での利用が半数以上を占めている。

<ルート別集計>

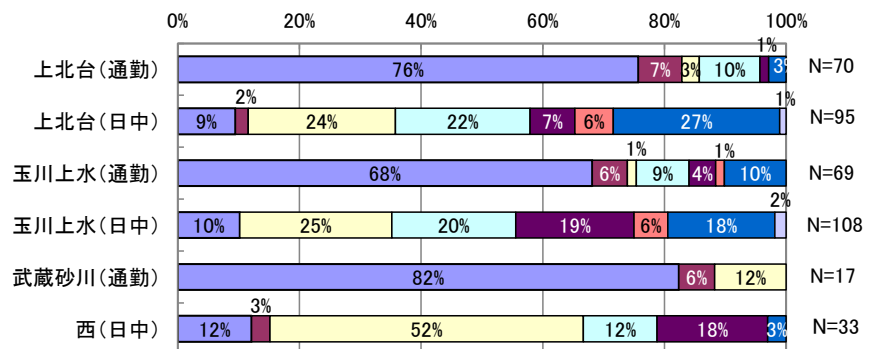
1-3 目的

N=397



1-3 目的

■通勤 ■通学 □買い物 □娯楽 ■通院 □習い事 ■その他 □不明



④ 目的地

目的地では、自宅への帰宅が最も多く、次いで、イオンモール、玉川上水駅、上北台駅となっている。通勤目的での利用者が多いため、市外の勤務先への移動も多い。

目的地	集計
自宅(市内)	39
イオンモール(榎)	38
玉川上水駅(立川市)	35
上北台駅(東大和市)	28
武蔵村山市役所(本町)	27
勤務先(市外)	26
かたくりの湯(本町)	23
村山医療センター(学園)	15
武蔵砂川駅(立川市)	12
武蔵村山病院(榎)	11
上北台生協(東大和市)	8
さくらホール(本町)	7
立川駅(立川市)	6
立川市内(立川市)	6
病院(大南)	5
桜街道駅(東大和市)	4
伊勢丹(立川市)	4
武蔵村山市 Food(風土)グランプリ(本町)	4
野山北公園(本町)	4

＜その他目的地＞

- 3 件：イトーヨーカドー(東大和市)、ロンド[プール](東大和市)、勤務先(市内)、武蔵村山市総合体育館(岸)、六道山公園(三ツ木)
- 2 件：いなげや(残堀)、いなげや(東大和市)、むさし村山苑(学園)、市民総合センター(学園)、自治会館・地区会館(三ツ木)、神明3丁目(神明)、診療所(学園)、診療所(本町)、東京小児療育病院(学園) 武蔵村山高等学校(中原)、エコス TAIRAYA(榎)、実家
- 1 件：オカネ塚公園(緑が丘)、お伊勢の森分室(中央)、カワイ音楽教室(学園)、しまむら(神明)、タカハシ[衣料品店](残堀)、ヒューマンライフ[デイサービス](本町)、エケ入谷戸(三ツ木)、湖南衛生組合(大南)、公園西(大南)、三ツ藤住宅東(三ツ藤)、大南地区学習等併用施設(大南)、実家(三ツ木)、病院(東大和市)、診療所(三ツ木)、診療所(東大和市)、診療所(立川市)、総合運動場(岸)、村山団地(緑が丘)、村山郵便局(本町)、中学校(神明)、小学校(学園)、第三老人福祉館(本町)、東京トヨペット(三ツ藤)、武蔵村山医療センター(学園)、武蔵村山市立歴史民俗資料館(本町)、飲食店(残堀)、国立災害医療センター(立川市)、応現院(立川市)、塾(立川市)、塾(東大和市)、高幡不動駅(日野市)、高幡不動尊(日野市)、吉祥寺(武蔵野市)、自宅(市外)、狭山丘陵、モノレール、駅、学校、集会所、診療所、西武線、孫の家

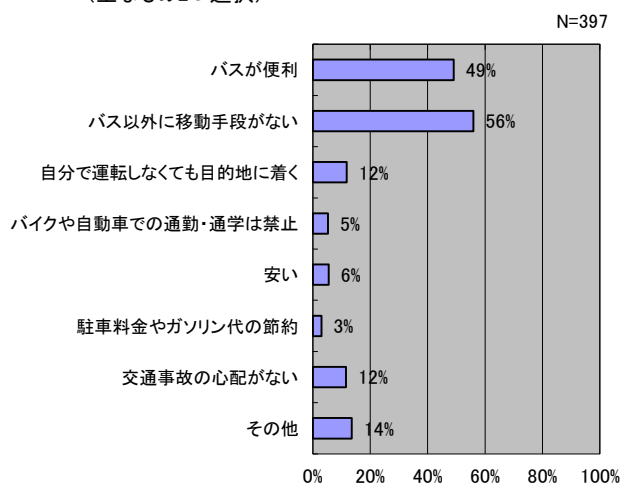
⑤ 循環バスを使用している理由

市内循環バスを使用している理由は、全体では「バス以外に移動手段がない」が最も多く56%である。次いで「バスが便利」が49%となっている。

ルート別にみると、日中に利用している方は、「バス以外に移動手段がない」からという理由が最も多くなっているが、通勤時のルートでは玉川上水ルートを除いて「バスが便利」との理由のほうが多くなっている。

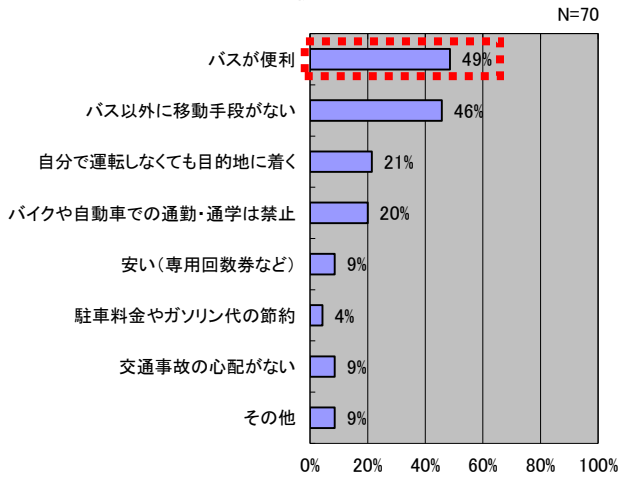
玉川上水ルートでは、通勤時も「バス以外に移動手段がない」が多く、他のルートに比べて路線バスを補完するルートとして利用されている。

1-6 循環バスを使用している理由
(主なもの2つ選択)

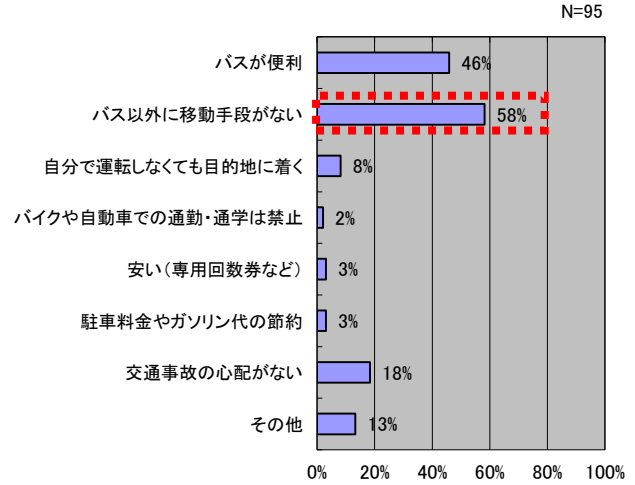


<ルート別集計>

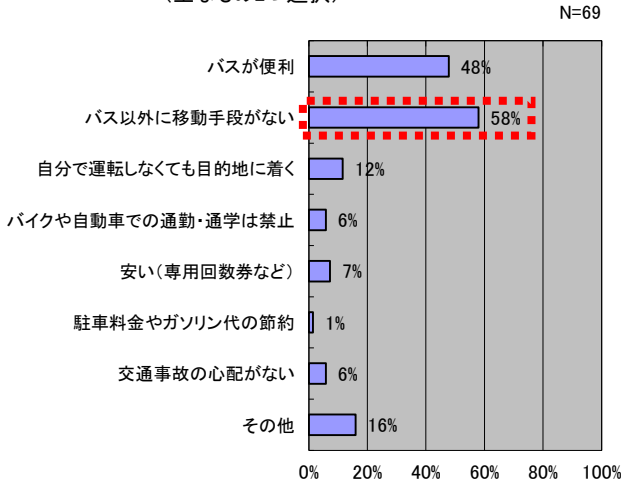
1-6 循環バスを使用している理由【上北台】通勤
(主なもの2つ選択)



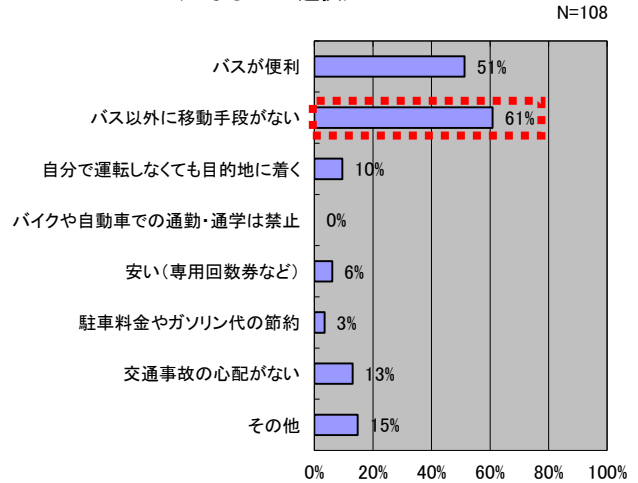
1-6 循環バスを使用している理由【上北台】日中
(主なもの2つ選択)



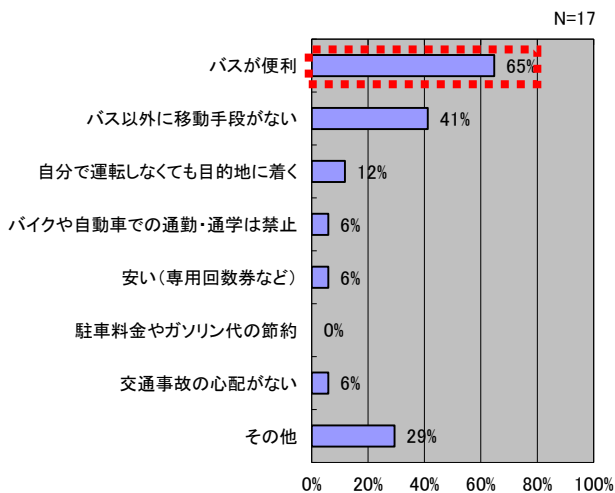
1-6 循環バスを使用している理由【玉川上水】通勤
(主なもの2つ選択)



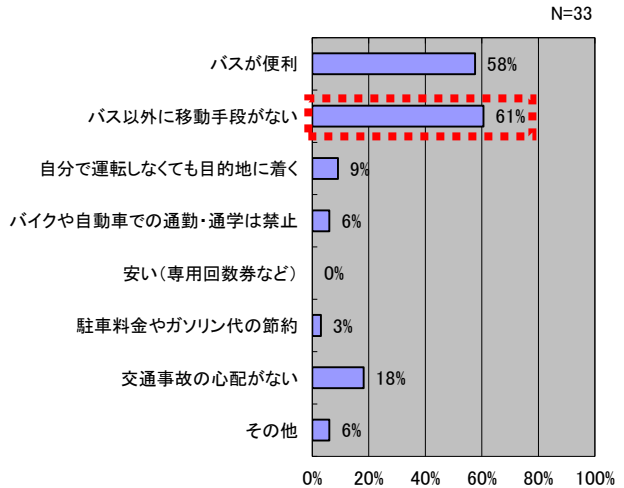
1-6 循環バスを使用している理由【玉川上水】日中
(主なもの2つ選択)



1-6 循環バスを使用している理由【武蔵砂川】通勤
(主なもの2つ選択)



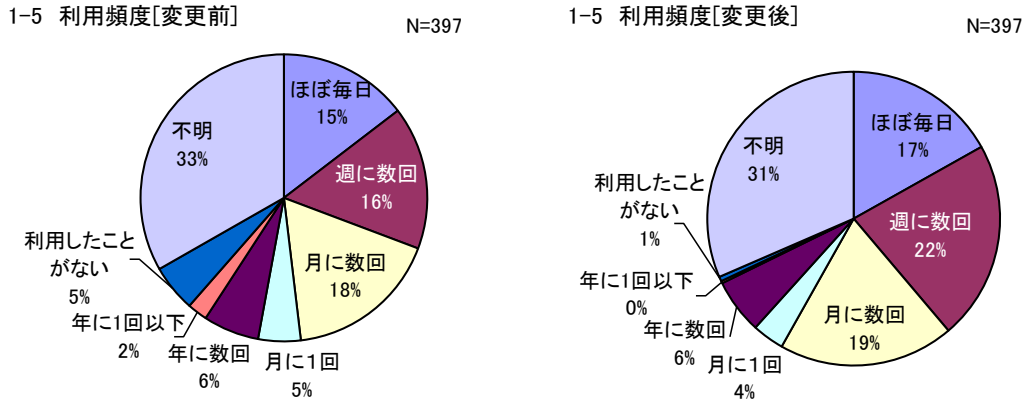
1-6 循環バスを使用している理由【西】日中
(主なもの2つ選択)



4) ルート変更による変化

① 利用頻度

ルート再編前後での利用頻度の変化をみると、変更後の方が利用頻度が高くなっている。



② ルート変更後の満足度

ルート変更前から利用していた方のみを対象に、ルート変更後の満足度の変化をみる。全体でみると、どの項目もどちらとも言えないとの回答が多く60%以上を占めている。目的地への行きやすさについては、30%程度がよくなった（非常によくなった、よくなったの合計）と回答しているが、乗車時間、自宅からバス停までの行きやすさについては20%程度にとどまっている。

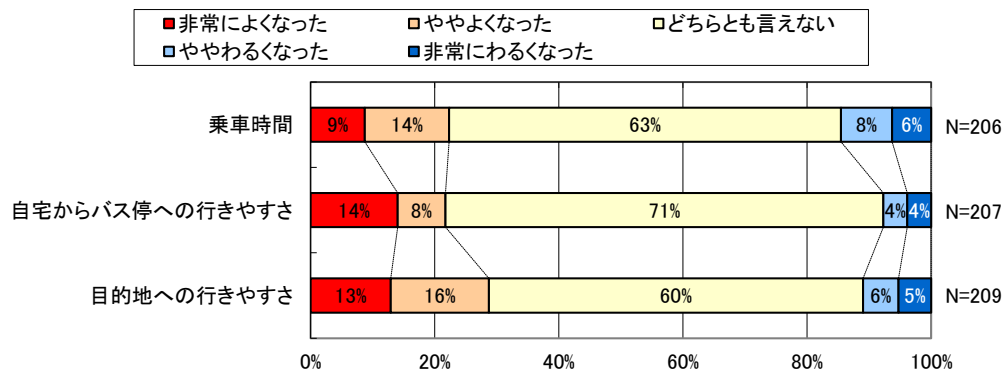
ルート別にみると、乗車時間については、西（日中）ルートを除いて、よくなったとの回答が20%程度以上である。西（日中）ルートではよくなったが10%以下、わるくなったが40%以上であるが、一方で武蔵砂川（通勤）ルートでは、よくなったと回答した割合が33%と高い。

自宅からバス停への行きやすさでは、上北台（通勤）ルート、武蔵砂川（通勤）ルート、西（日中）ルートでよくなったと回答している割合が低い。

目的地への行きやすさについては、武蔵砂川（通勤）ルート、西（日中）ルートの評価が高く、よくなったとの回答が40%以上となっている。

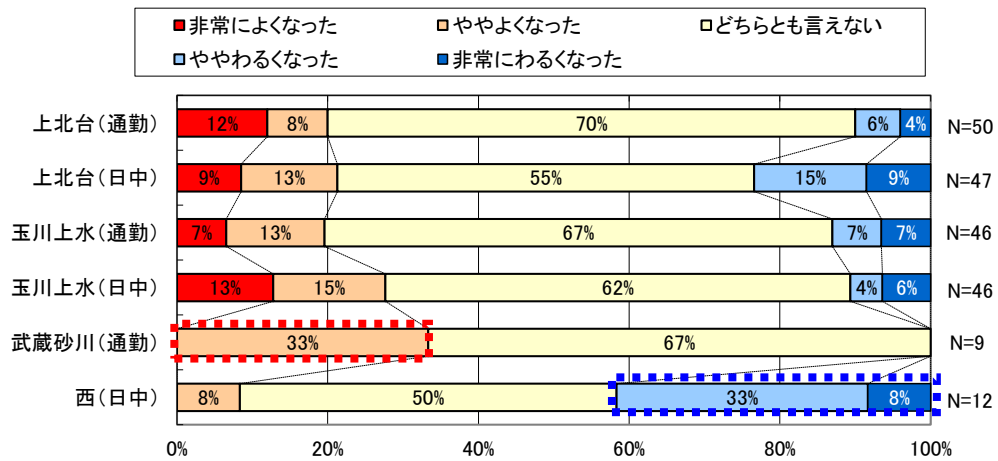
全項目をみると、西（日中）ルートでわるくなったと回答している割合が他のルートと比べて高く、特に乗車時間については40%以上がわるくなったとしている。

1-5 ②ルート変更後の満足度

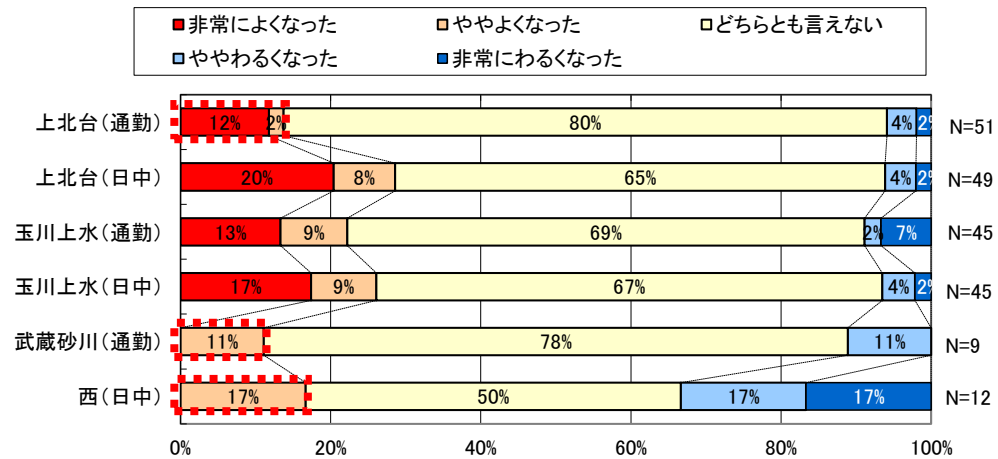


<ルート別集計>

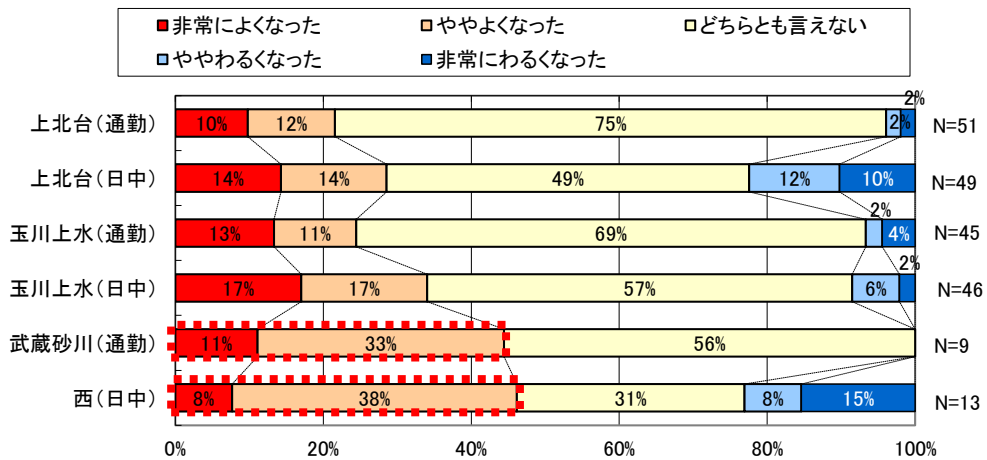
1-5 ②ルート変更後の満足度_乗車時間



1-5 ②ルート変更後の満足度_自宅からバス停への行きやすさ



1-5 ②ルート変更後の満足度_目的地への行きやすさ



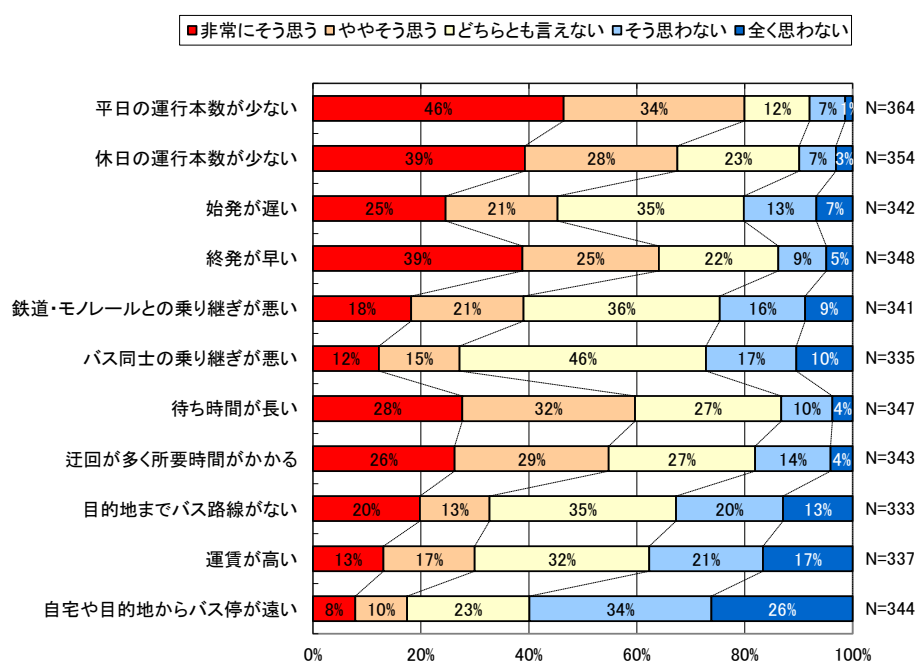
5) バスサービスの満足度・改善要望

① バスサービスの満足度

バスサービスの各項目に対する満足度をみると、平日・休日ともに運行本数が少ないこと、終発の時間が早いことへの不満が高く、60%以上がそう思う（非常にそう思う、ややそう思うの合計）と回答している。次いで、待ち時間が長い、迂回が多く所要時間がかかるについても、半数以上がそう思うと回答している。

一方、自宅や目的地からバス停までの距離については、遠いとは思わない（そう思わない、全く思わないの合計）の割合が高く 60%であり、満足度が高い項目である。そのほか、運賃が高いについても、思わない割合が 40%程度となっている。

2-1循環バスの満足度について

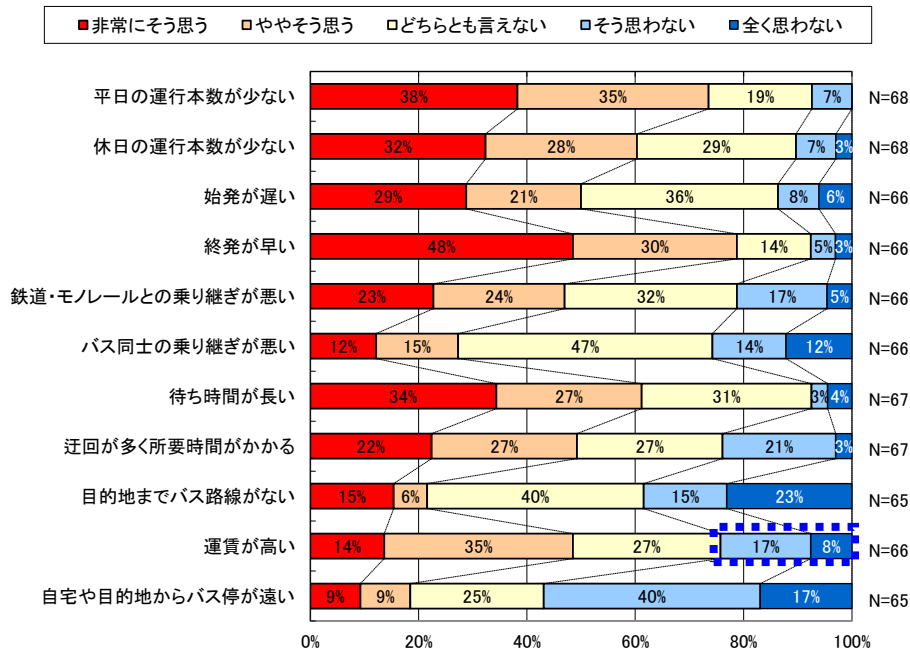


<ルート別集計>

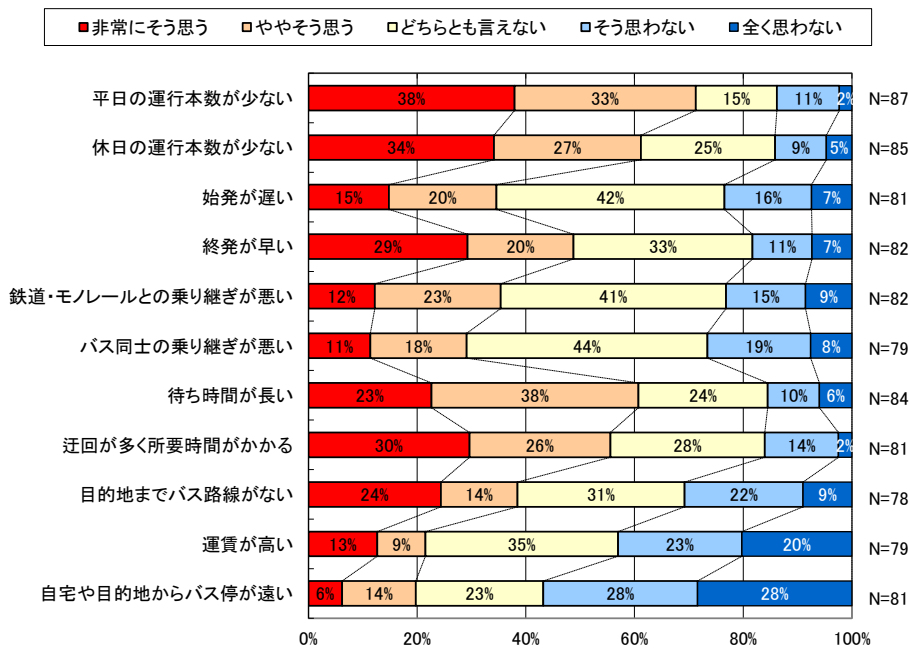
玉川上水（通勤・日中）ルート、武蔵砂川（通勤）ルートでは、平日の運行本数に対する不満が他のルートに比べて高い。

西（日中）ルートでは、鉄道・モノレール、バス同士での乗り継ぎに対する満足度が他のルートに比べると高く、40%程度となっている。武蔵砂川（通勤）ルートでは、自宅や目的地からバス停が遠いことに対して満足度が低くなっている。また、上北台（通勤）ルートでは、運賃に対する満足度が低くなっている。

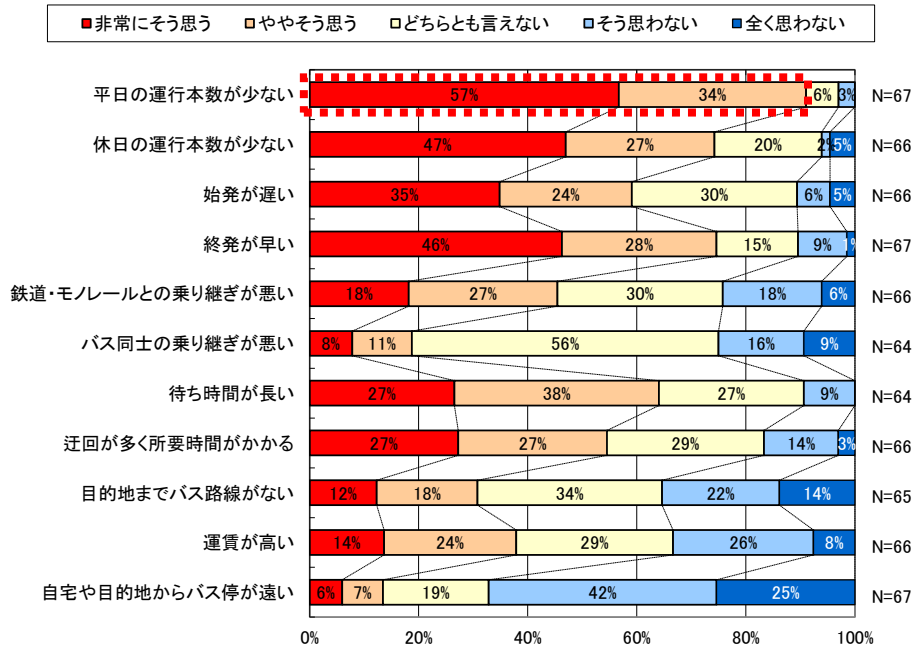
2-1循環バスの満足度について_上北台(通勤)



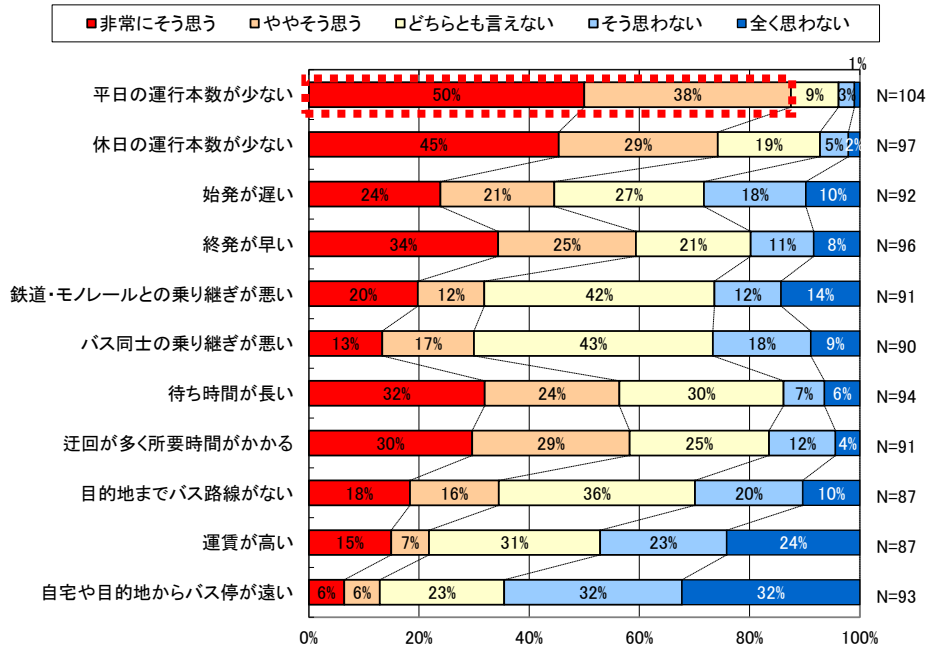
2-1循環バスの満足度について_上北台(日中)



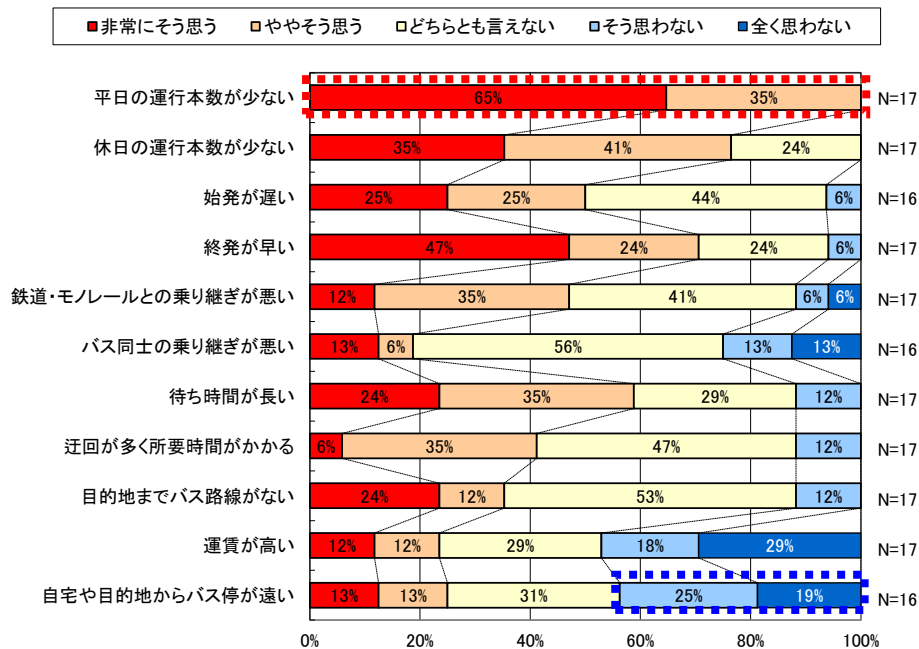
2-1循環バスの満足度について_玉川上水(通勤)



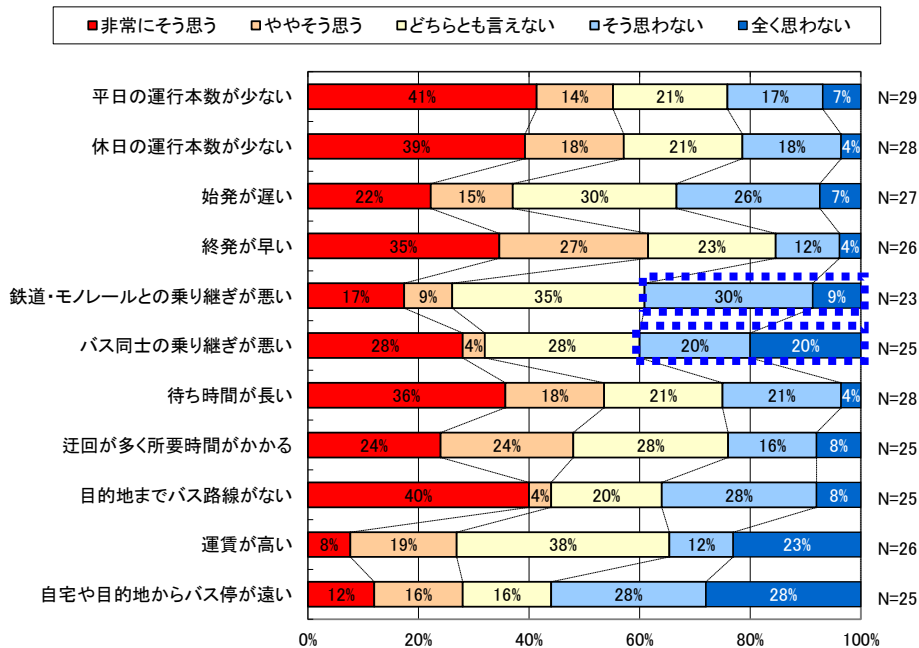
2-1循環バスの満足度について_玉川上水(日中)



2-1循環バスの満足度について_武蔵砂川(通勤)



2-1循環バスの満足度について_西(日中)



② 改善要望

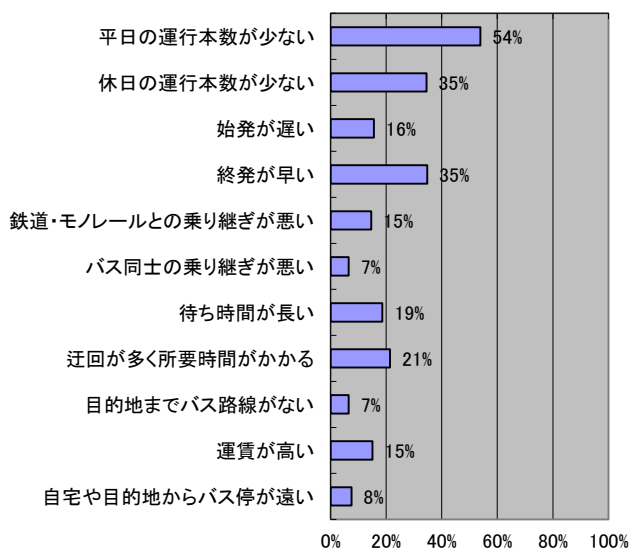
改善してほしい事項をみると、全体では平日の運行本数を挙げている方が54%と多く、次いで、休日の運行本数、終発が早いのが35%である。

ルート別にみると、多くのルートで平日の運行本数が少ないことが挙がっており、特に武蔵砂川（通勤）ルートでの要望が高いが、一方で、西（日中）ルートでは、平日の運行本数に対する要望は低く、休日の運行本数、終発が早いと並んで30%程度となっている。

その他、上北台（通勤）ルートでは、終発が早いこと、運賃が高いことに対する要望が他のルートに比べて高くなっている。

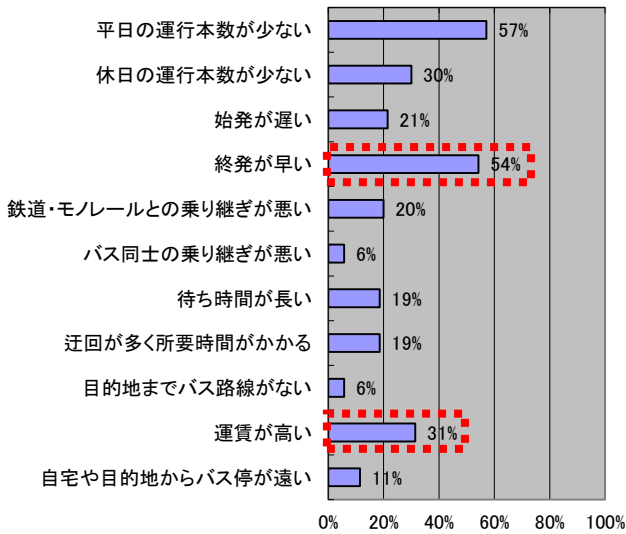
2-2 改善希望(3つ選択)

N=397

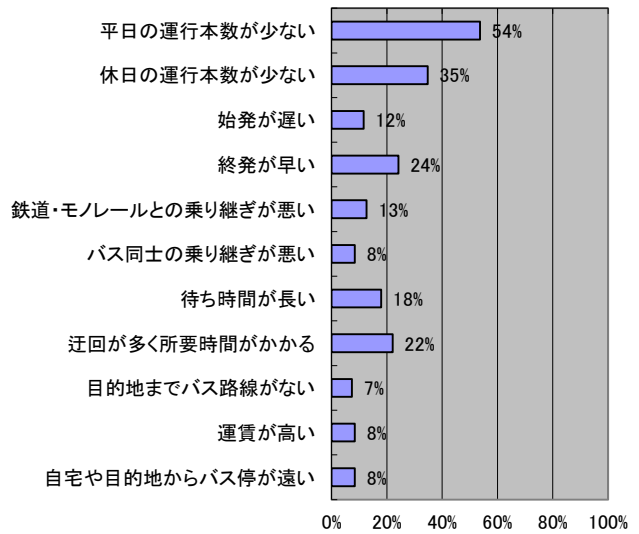


<ルート別集計>

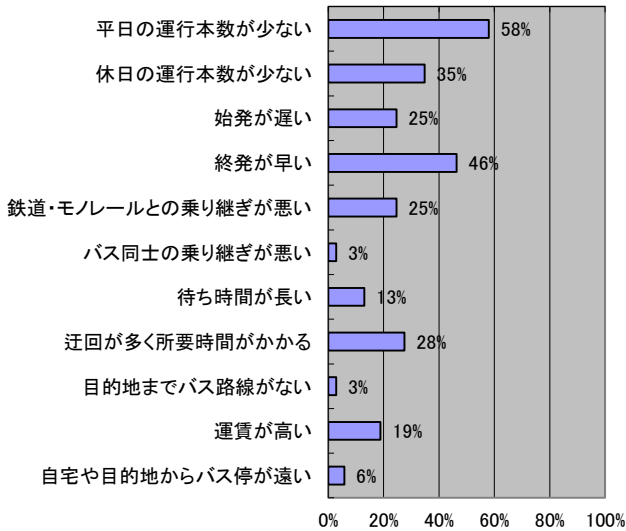
2-2 改善希望 合計【上北台】通勤 N=70



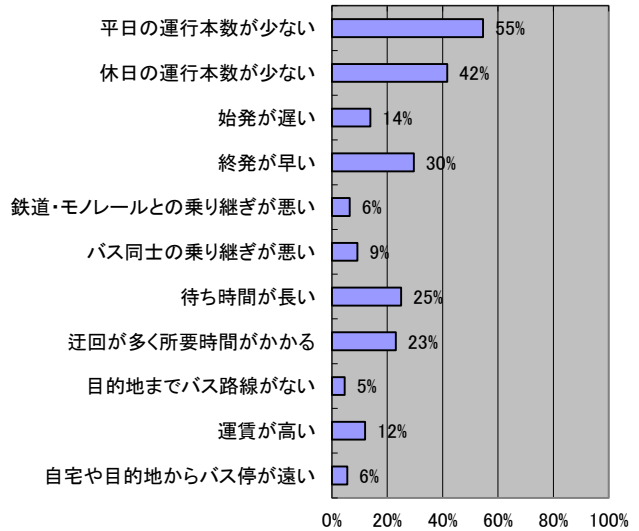
2-2 改善希望 合計【上北台】日中 N=95



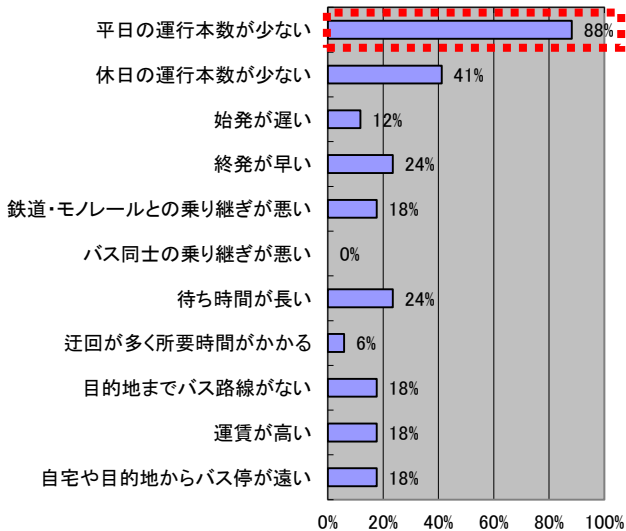
2-2 改善希望 合計【玉川上水】通勤 N=69



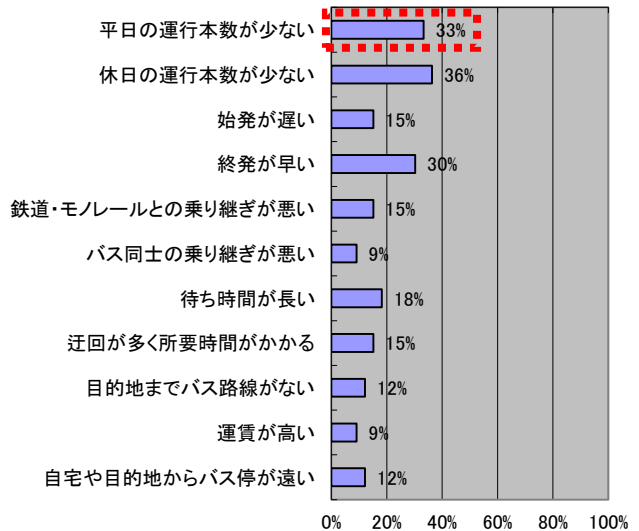
2-2 改善希望 合計【玉川上水】日中 N=108



2-2 改善希望 合計【武蔵砂川】通勤 N=17



2-2 改善希望 合計【西】日中 N=33



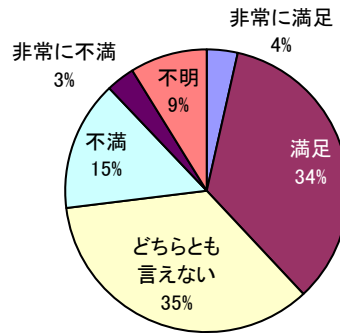
③ バスサービスに対する総合評価

現状のバスに対する総合評価をみると、満足（非常に満足、満足の合計）と回答した割合は約40%である。どちらとも言えないが35%存在するが、不満と回答した割合は20%未満であり、一定の評価はされていると考えられる。

ルート別にみると、武蔵砂川（通勤）ルートでの満足度が低く、不満の割合が高くなっており、一方で西（日中）ルートは半数程度が満足と回答しており満足度が高い。

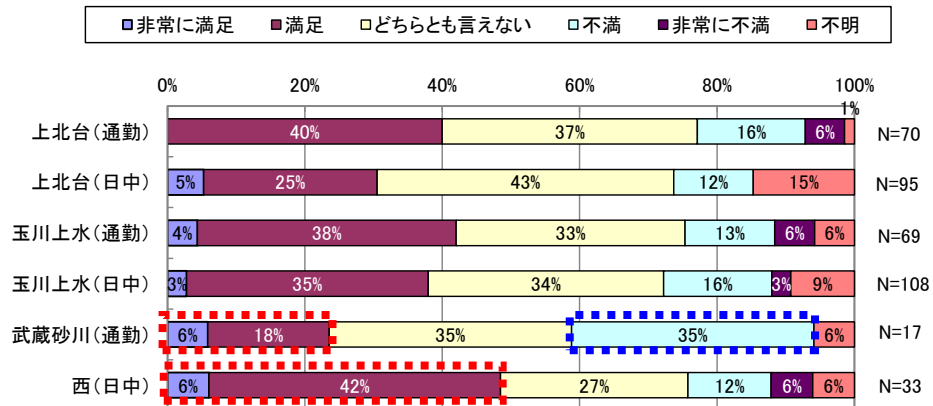
2-3 現況バスサービスに対する総合評価

N=397



<ルート別集計>

2-3 現況バスサービスに対する総合評価

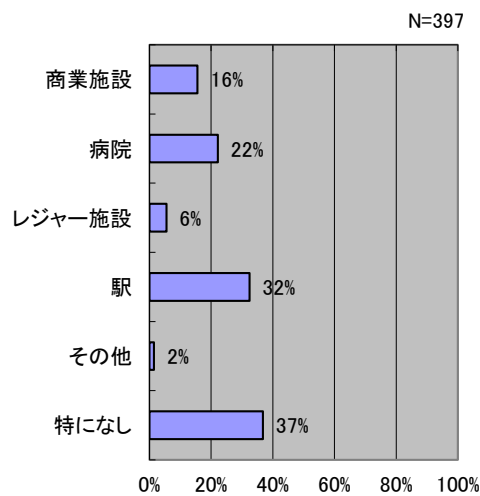


6) 今後の運行

① 市内循環バスに運行してほしい施設区分

運行してほしい施設をみると、全体では駅への要望が最も高く 32%である。次いで、病院、商業施設である。

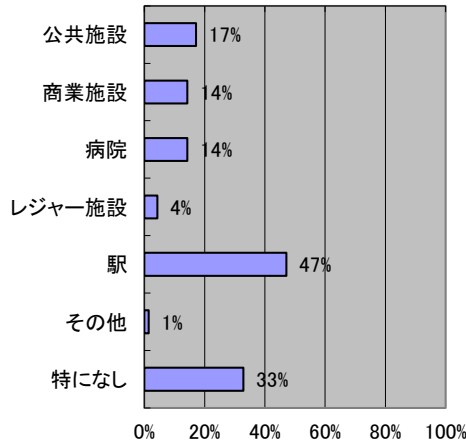
ルート別に見ても、玉川上水（日中）ルートを除いて駅への要望が高くなっており、特に武蔵砂川（通勤）ルートでは65%となっている。また、武蔵砂川（通勤）ルートでは、公共施設への運行要望が他のルートに比べて高く半数以上の方が望んでいる。

2-4 循環バスに運行してほしい施設区分
(複数回答)

<ルート別集計>

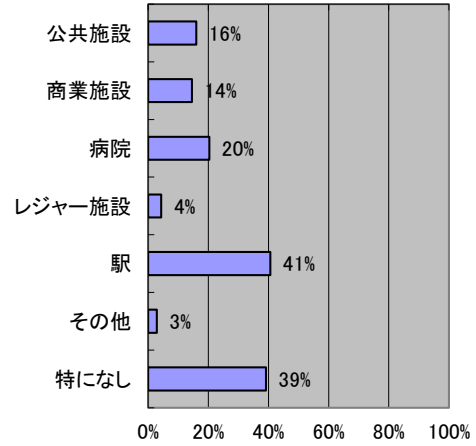
2-4 循環バスに運行してほしい施設区分(複数回答)【上北台】通勤

N=70



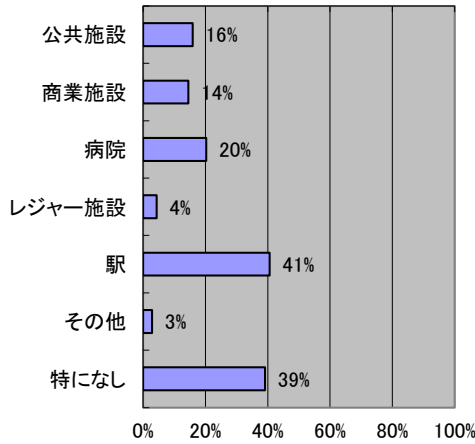
2-4 循環バスに運行してほしい施設区分(複数回答)【上北台】日中

N=95



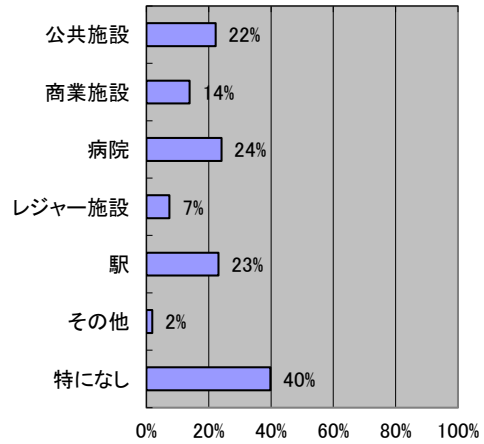
2-4 循環バスに運行してほしい施設区分(複数回答)【玉川上水】通勤

N=69



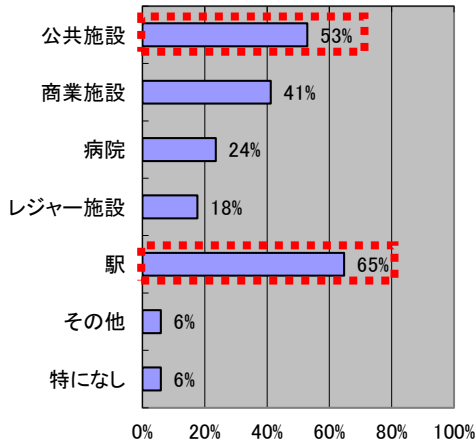
2-4 循環バスに運行してほしい施設区分(複数回答)【玉川上水】日中

N=108



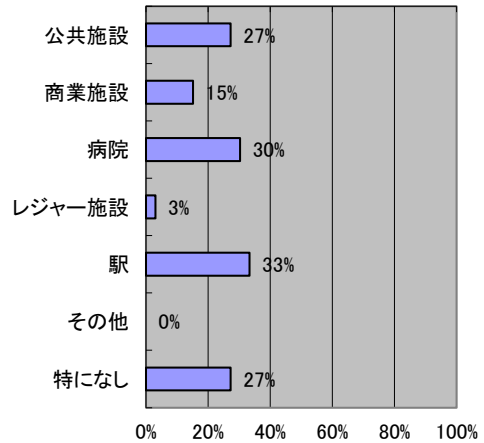
2-4 循環バスに運行してほしい施設区分(複数回答)【武蔵砂川】通勤

N=17



2-4 循環バスに運行してほしい施設区分(複数回答)【西】日中

N=33



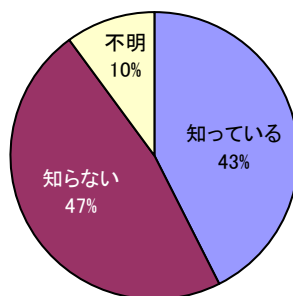
7) むらタクについて

① 「むらタク」の認知度

むらタクの認知度は43%であり、知らないの47%の方が高くなっている。

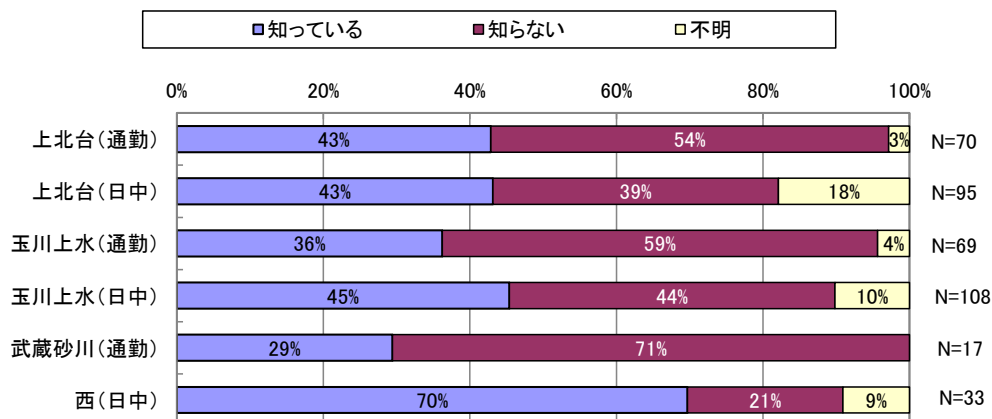
ルート別にみると、運行地区に近い西（日中）ルートの利用者は認知度が高く 70%であるが、他のルートの利用者の認知度は30~40%程度である。

2-5 ①「むらタク」の認知度 N=397



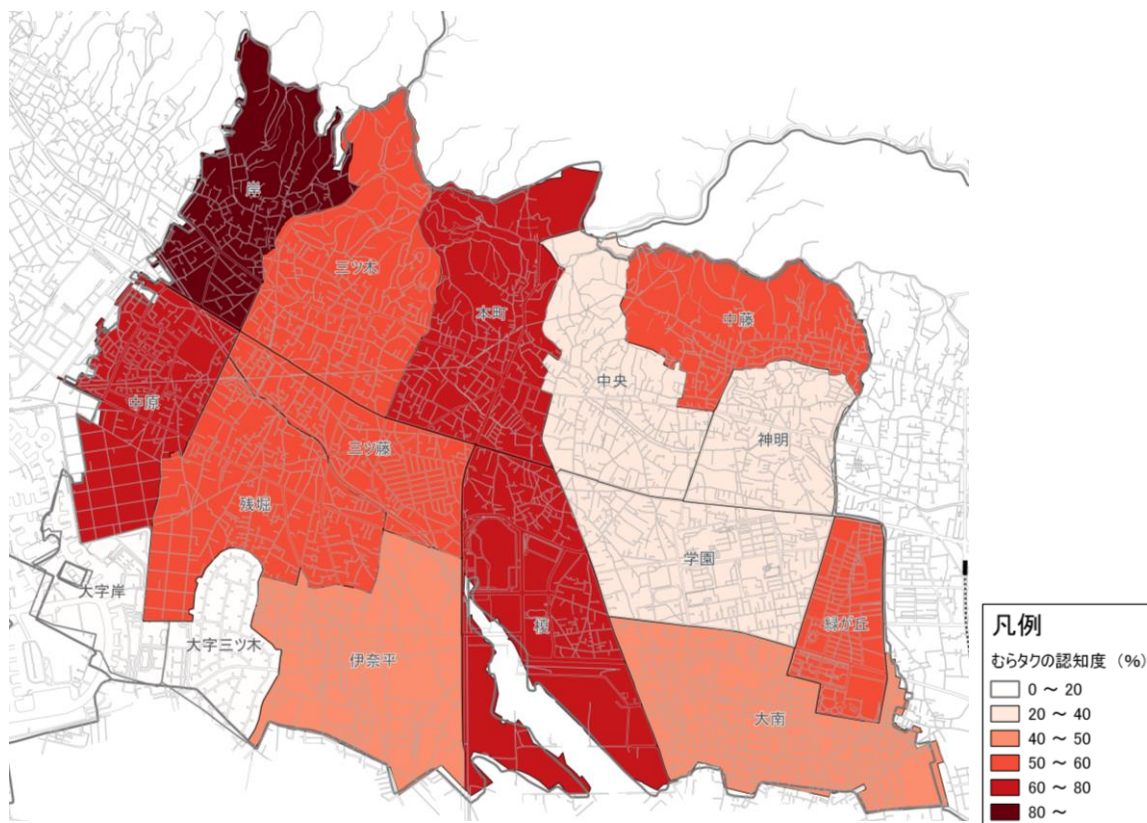
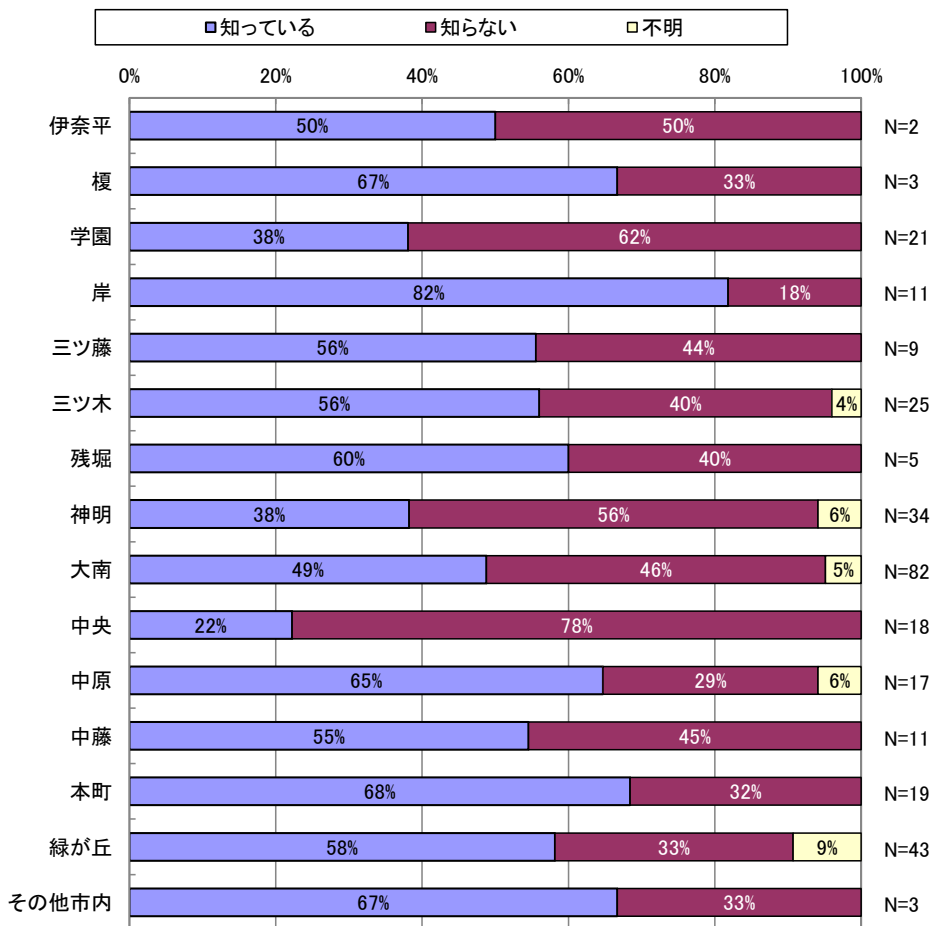
<ルート別集計>

2-5 ①「むらタク」の認知度



<地区別集計>

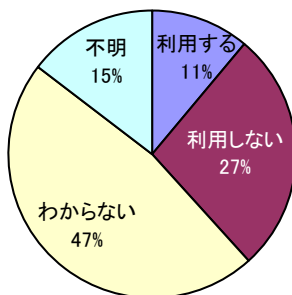
2-5 ①「むらタク」の認知度 武蔵村山市内のみ



② 「むらタク」が拡大した場合の利用意向

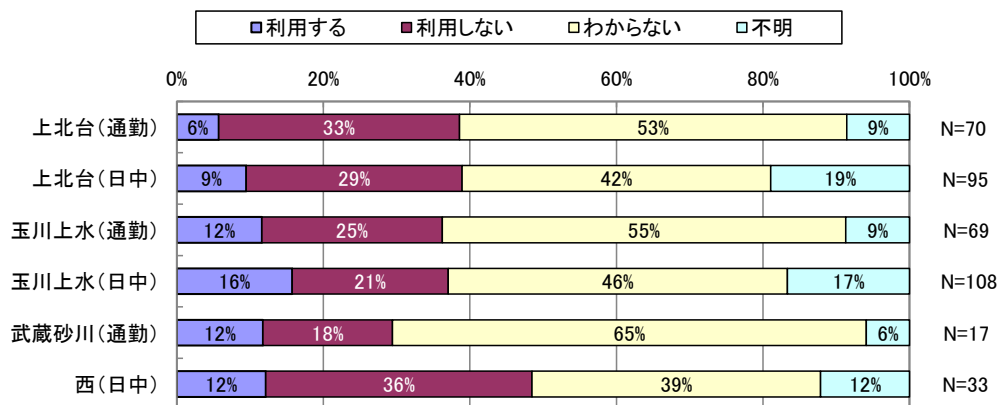
むらタクの運行が拡大した場合の利用意向をみると、利用すると回答した割合が 11% であるのに対して、利用しないが 27%と、利用しないとの回答が多くなっている。ルート別にみても同様の傾向である。

2-5 ②乗り合いタクシーの運行が拡大した場合の利用意向 N=397



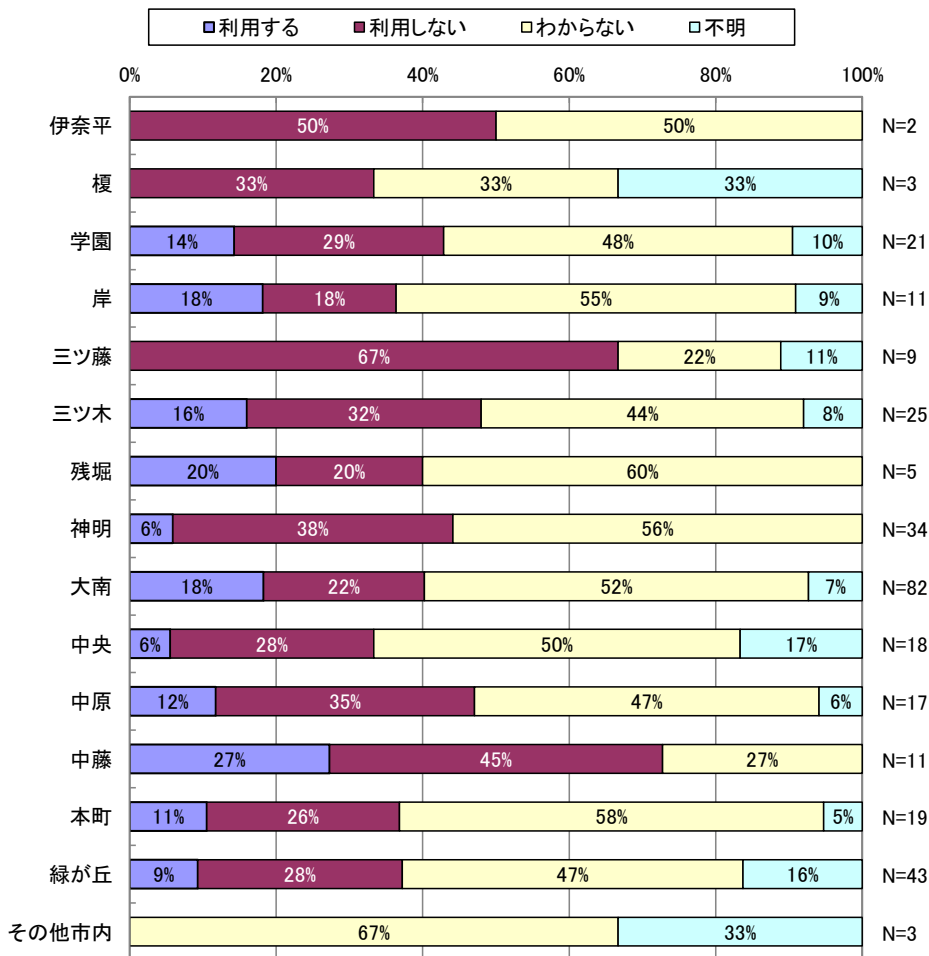
<ルート別集計>

2-5 ②乗り合いタクシーの運行が拡大した場合の利用意向



<地区別集計>

2-5 ②乗り合いタクシーの運行が拡大した場合の利用意向 武蔵村山市内のみ



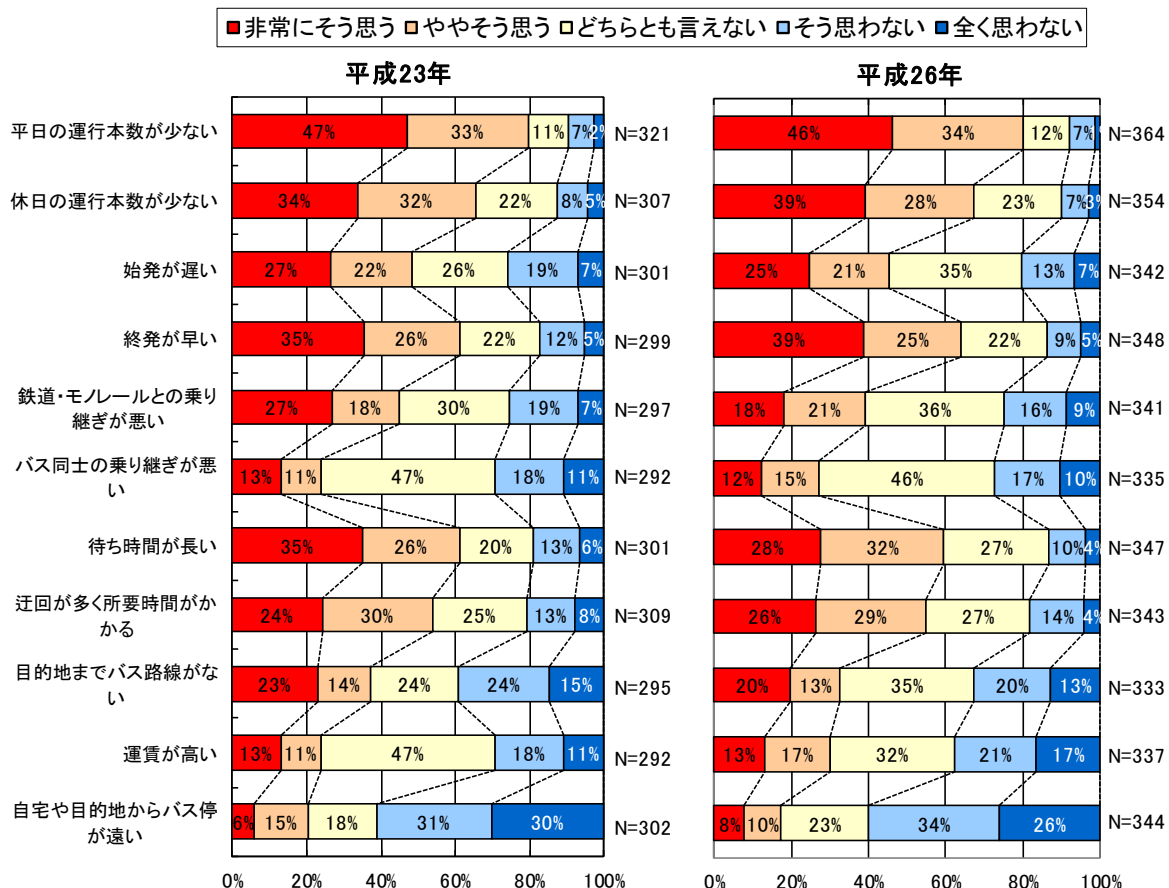
(2) 平成 23 年度調査との比較

① バスサービスの満足度

バスサービスに対する満足度について平成 23 年調査時と比較すると、全体での状況に大きな違いはみられない。

運賃については、対距離運賃から 170 円均一運賃に変わっていることもあり、運賃が高いと思わないと回答している割合が高くなっている。

2-1 循環バスの満足度について



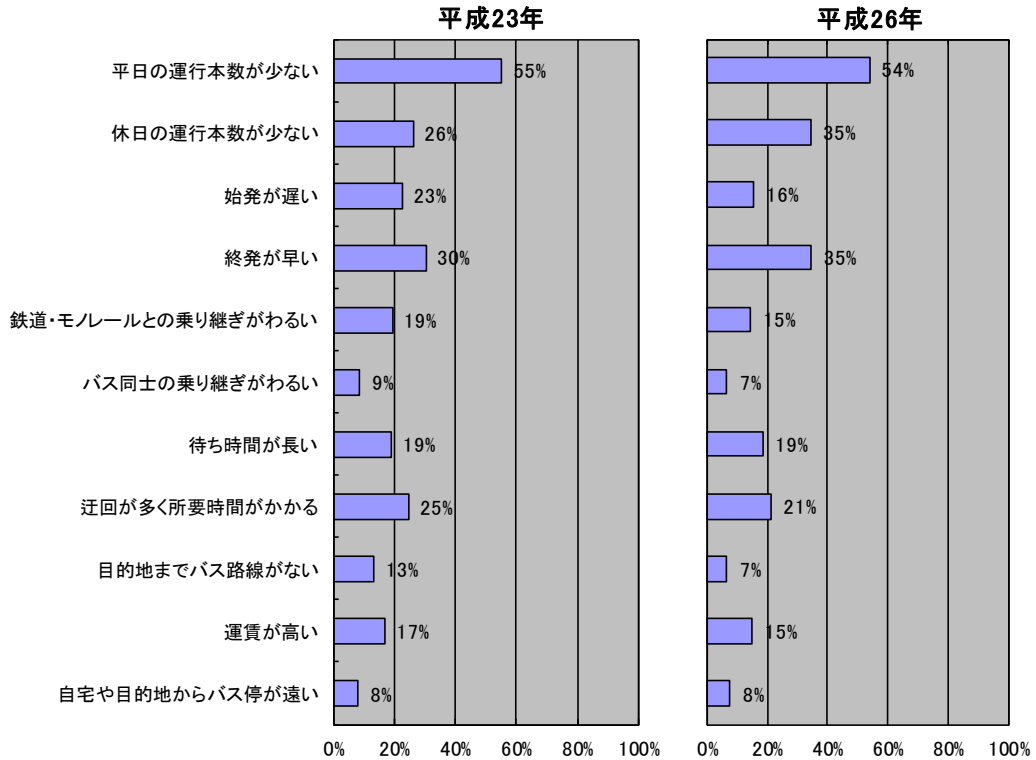
② 改善要望

改善要望としては、平成 23 年調査時と変わらず、平日の運行本数が少ないことを挙げている方が半数以上であるが、その他、休日の運行本数が少ない、終発が早いとの意見が多くなっている。一方、始発が遅い、迂回が多く所要時間がかかることについては、改善を要望している割合が若干ではあるが減少している。

2-2 改善希望(複数選択)

N=337

N=397



③ バスサービスに対する総合評価

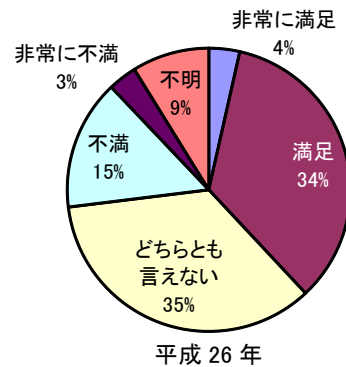
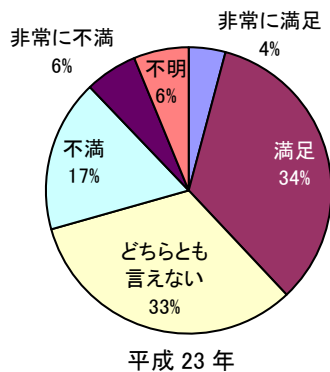
バスサービスに対する総合評価をみると、満足度は変化がないが、不満度については少しではあるが減少しており、一部効果があったと考えられる。

2-3 現況バスサービスに対する総合評価

N=337

現況バスサービスに対する総合評価

N=397



3 バス停間 OD 調査

3.1 利用者数

調査の結果、平日（11月6日（木））の利用者数は1015名、休日（11月16日（日））の利用者数は707名、合計で1722名であった。

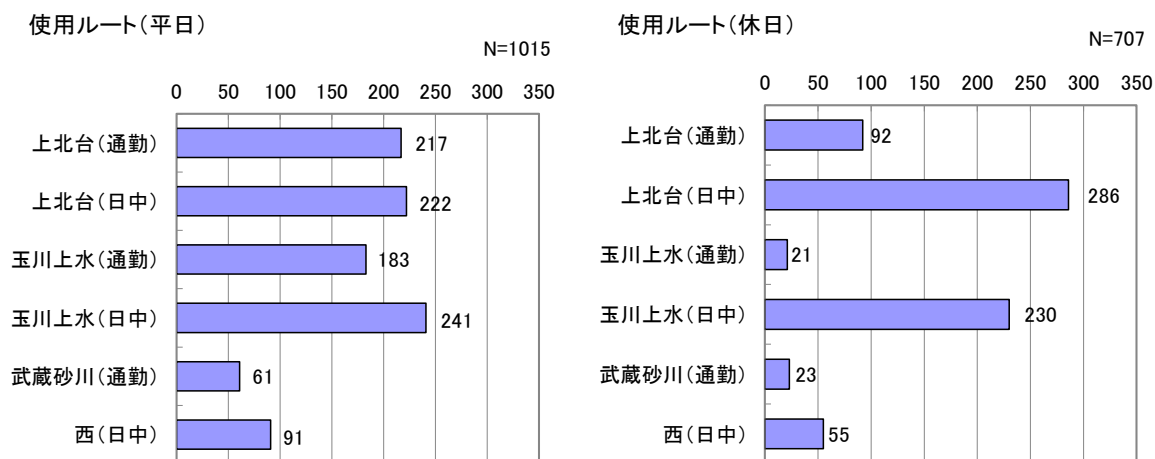
平日（11月6日（木））	1015名
休日（11月16日（日））	707名
合計	1722名

3.2 利用の状況

1) 使用ルート

平日では玉川上水（日中）ルートが最も多く、その他、上北台（通勤）ルート、上北台（日中）ルートでは200人を超えている。一方、武蔵砂川（通勤）ルート、西（日中）ルートは、利用者数が少なく100人以下である。

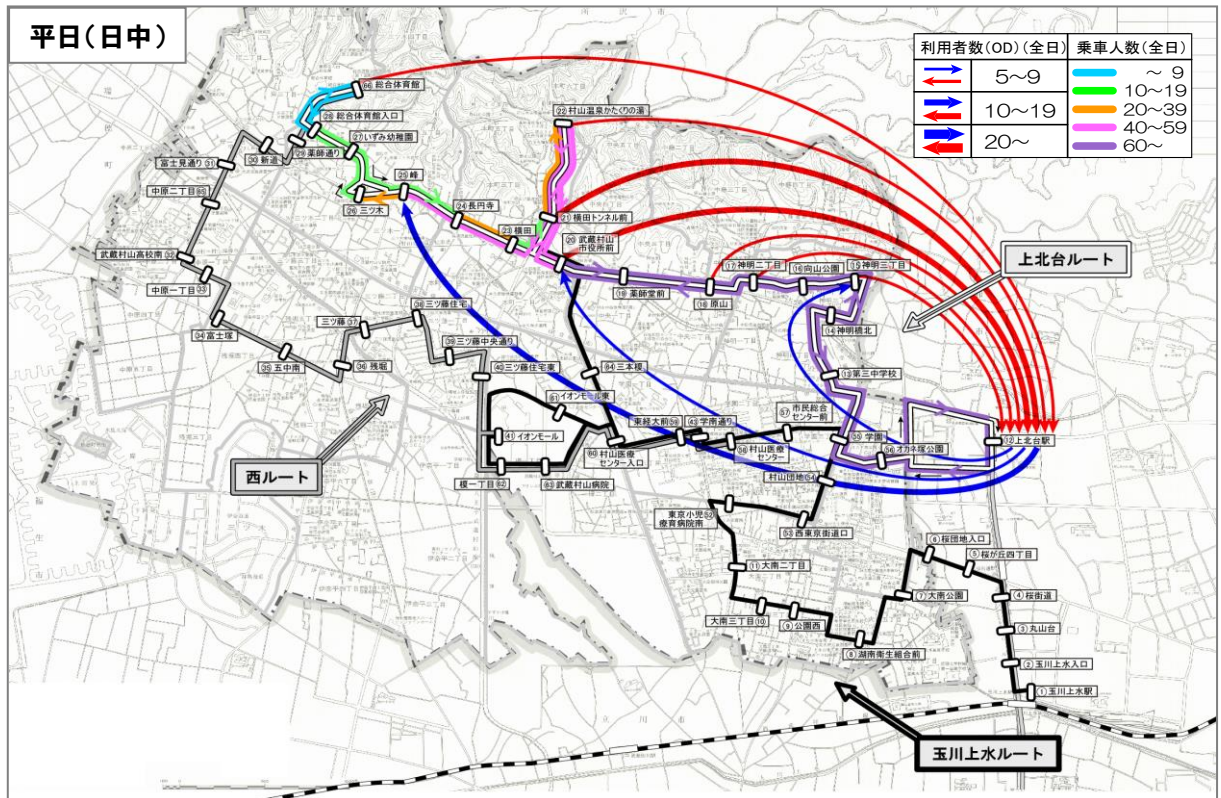
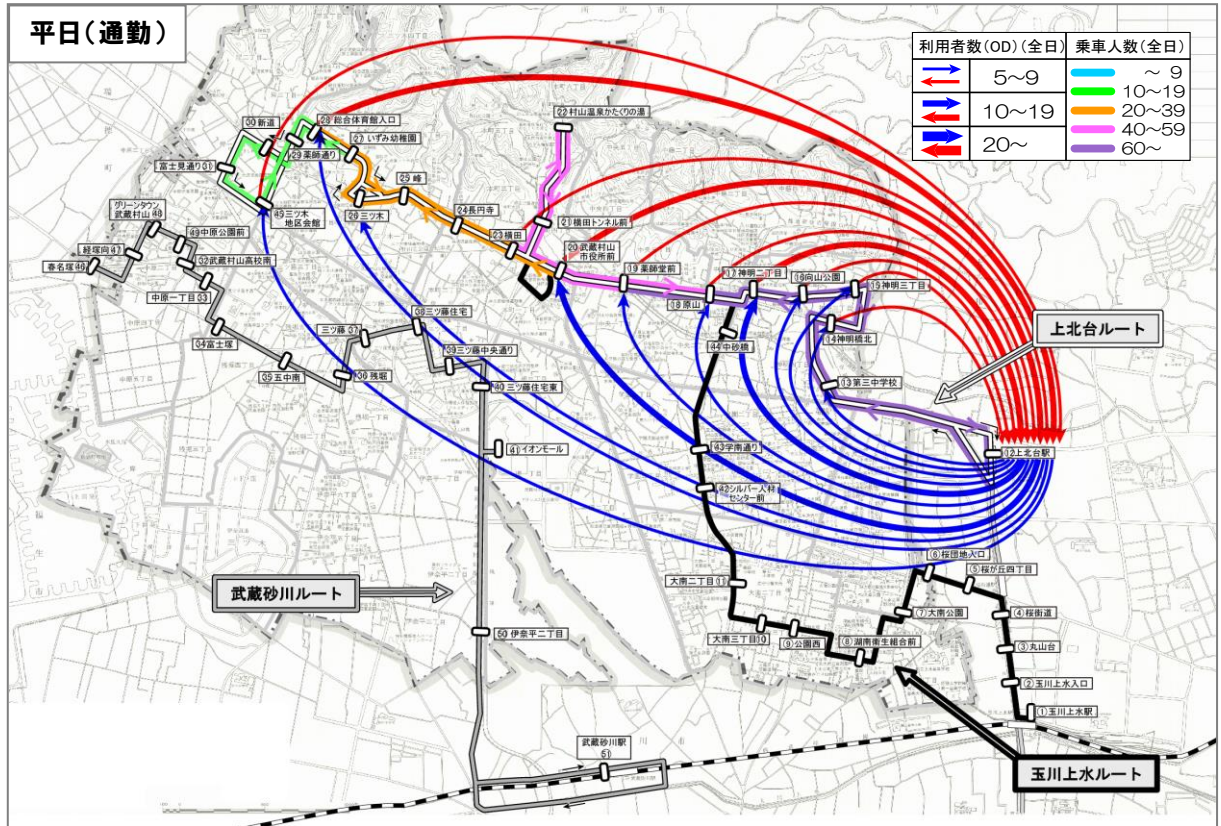
休日では、通勤ルートの利用者が平日に比べて特に少ない一方、上北台（日中）ルート、玉川上水（日中）ルートの利用者は平日と同程度、もしくは平日よりも多くなっている。武蔵砂川（通勤）ルート、西（日中）ルートは平日休日ともに利用者数が少ない。



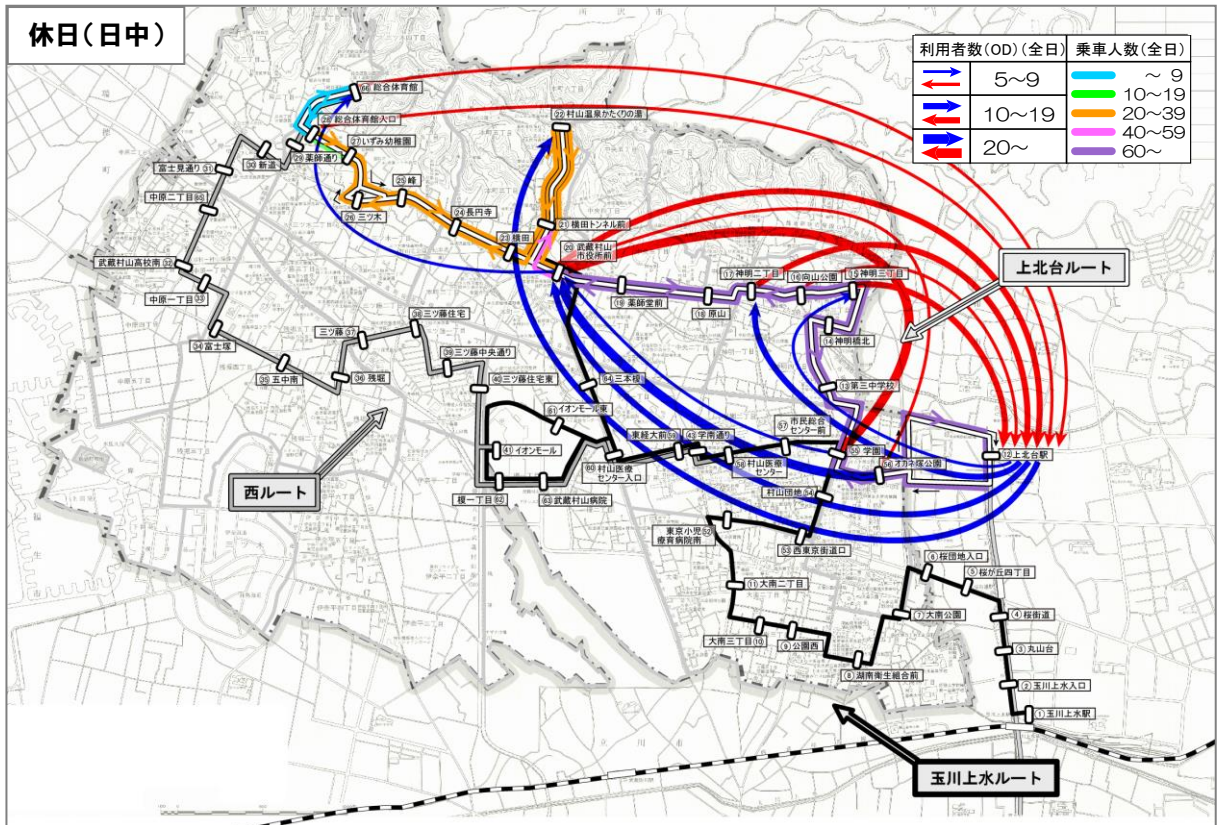
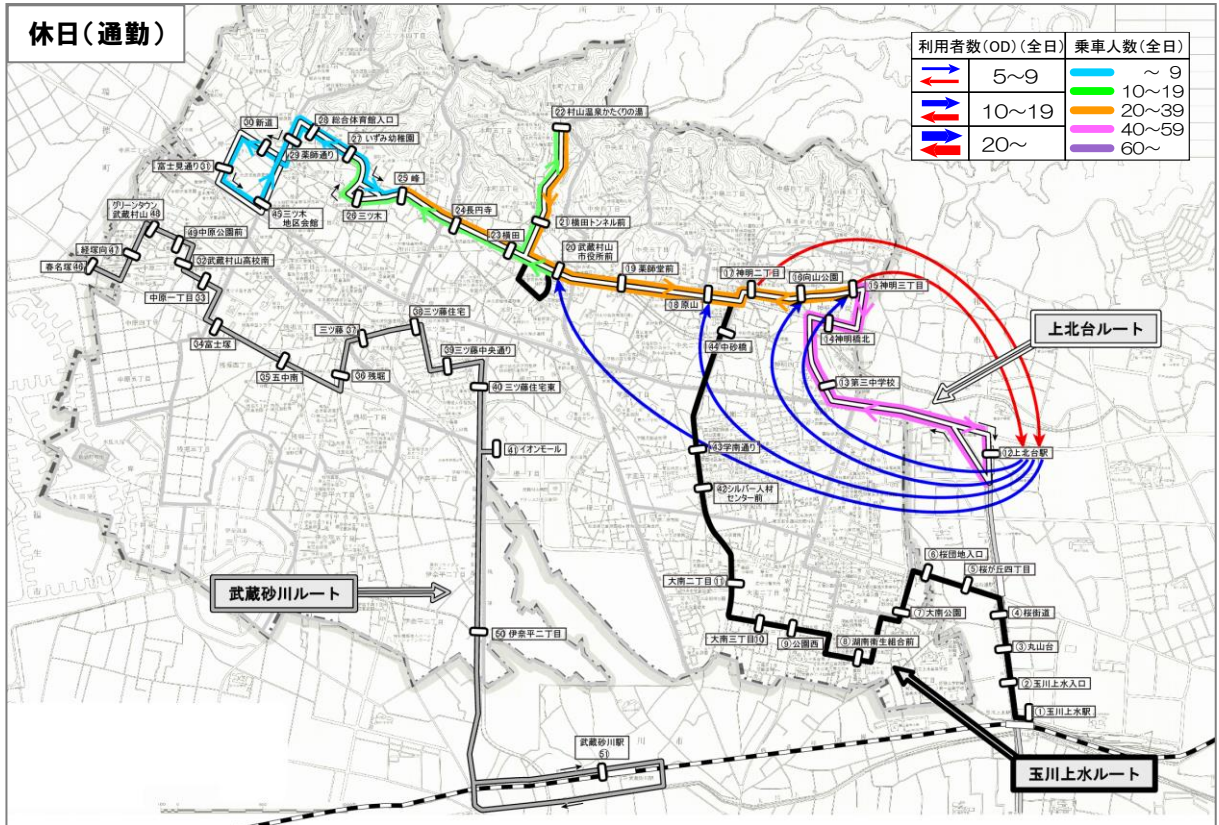
2) 使用バス停

① 上北台ルート

平日のバス停間 OD をみると、通勤時では上北台駅での乗降が多い。上北台駅方面での移動では、総合体育館入口、武蔵村山市役所前、神明二丁目での乗車が特に多く、総合体育館方面での移動は、神明二丁目、武蔵村山市役所前での降車が多い。日中時では、横田トンネル前、武蔵村山市役所前から上北台駅、上北台駅から峰までの利用が多い。

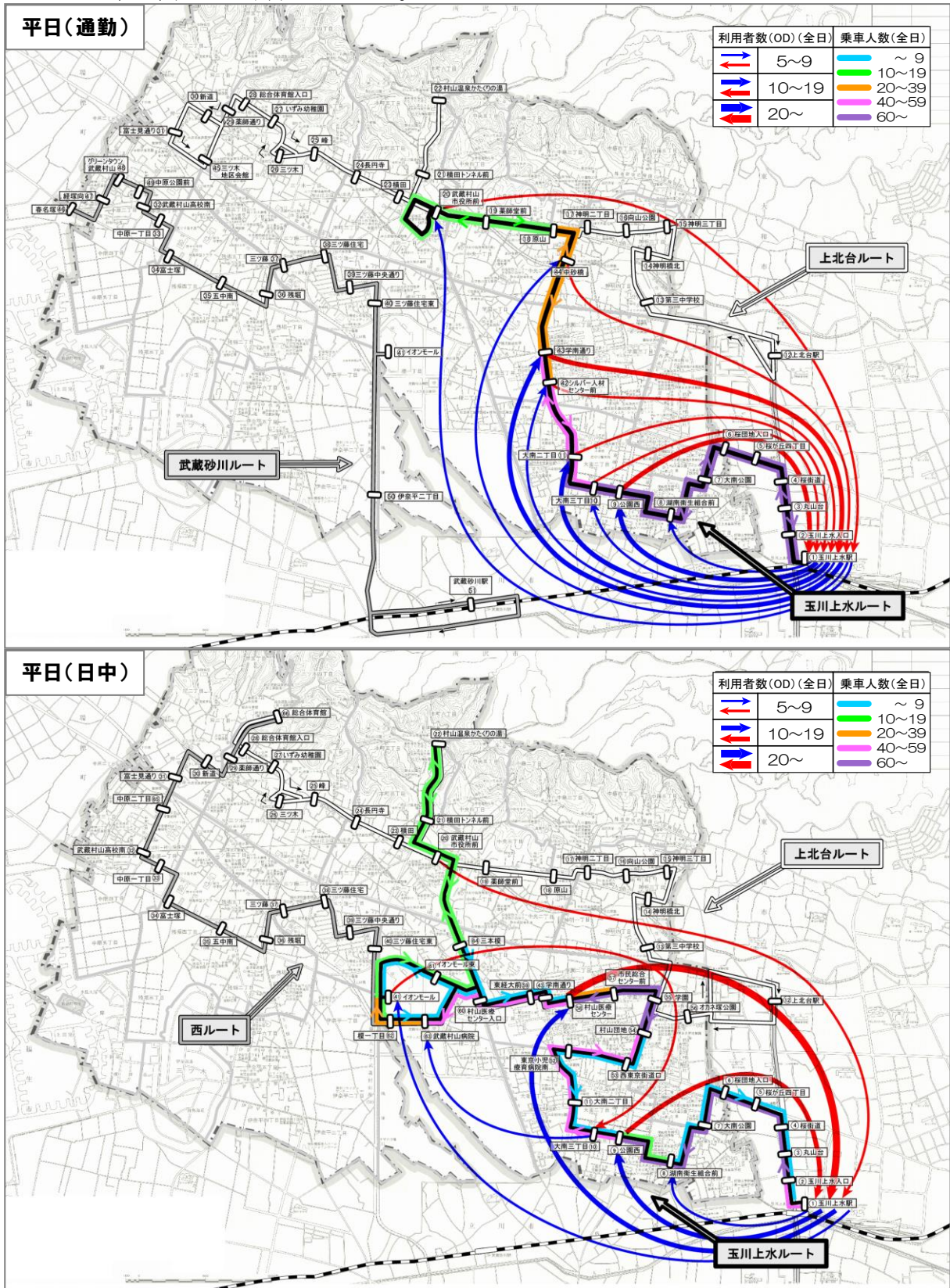


休日では、通勤時の利用は少ない。日中時では、上北台駅での乗降のほか武蔵村山市役所前での乗降が多い。武蔵村山市役所前から学園、オカネ塚公園から武蔵村山市役所前の利用が特に多くなっている。

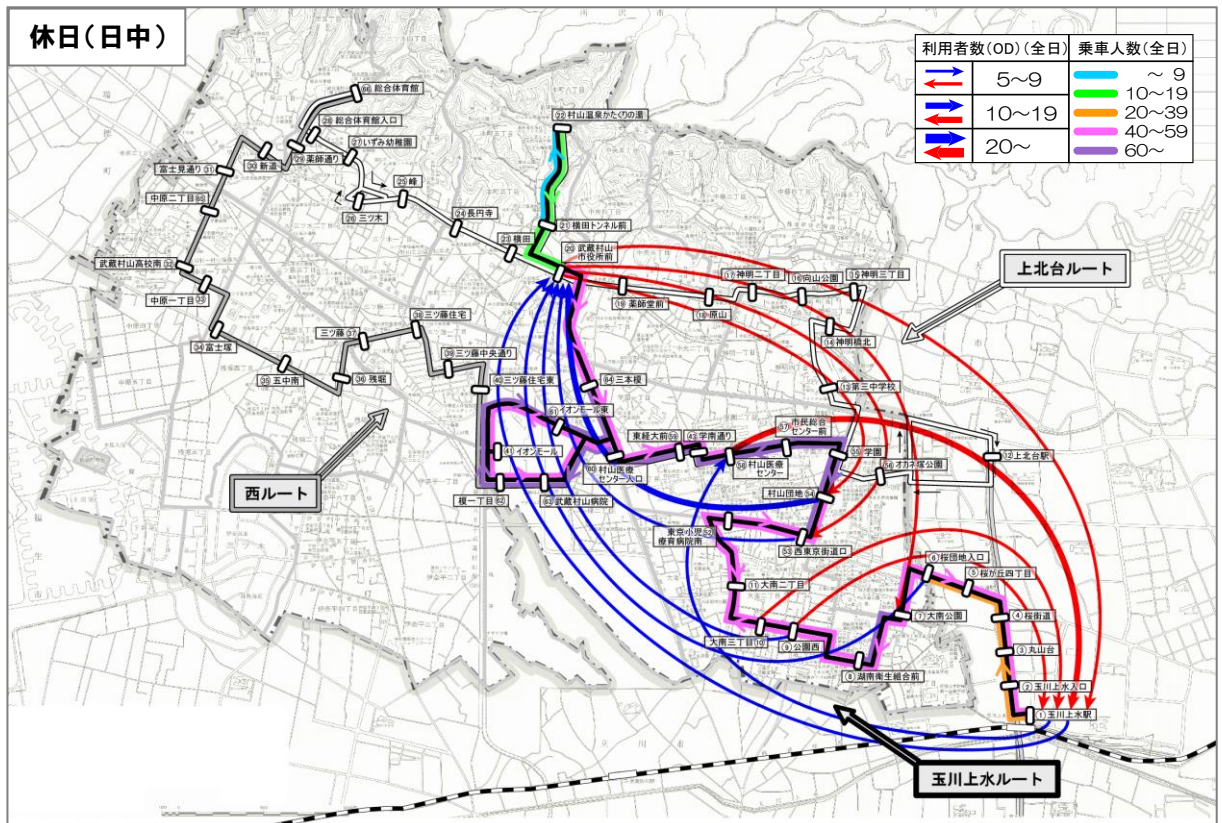
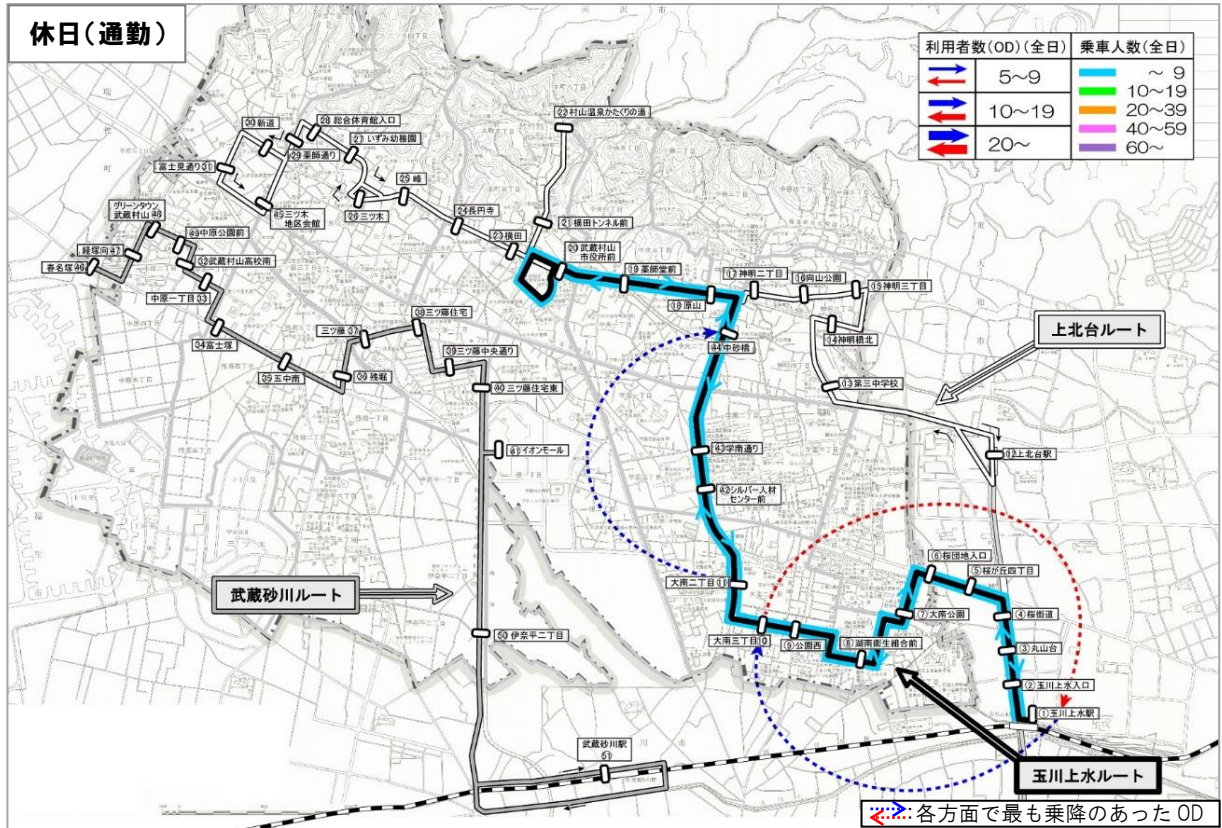


② 玉川上水ルート

平日の通勤時では、玉川上水駅での乗降がほとんどである。玉川上水駅方面では、学南
通り、公園西での乗車が多く、武蔵村山市役所方面では、公園西、大南二丁目、学南通り
での降車が多い。日中時では、玉川上水駅での乗降のほか、イオンモールや村山医療セン
ター、公園西での乗降がみられる。

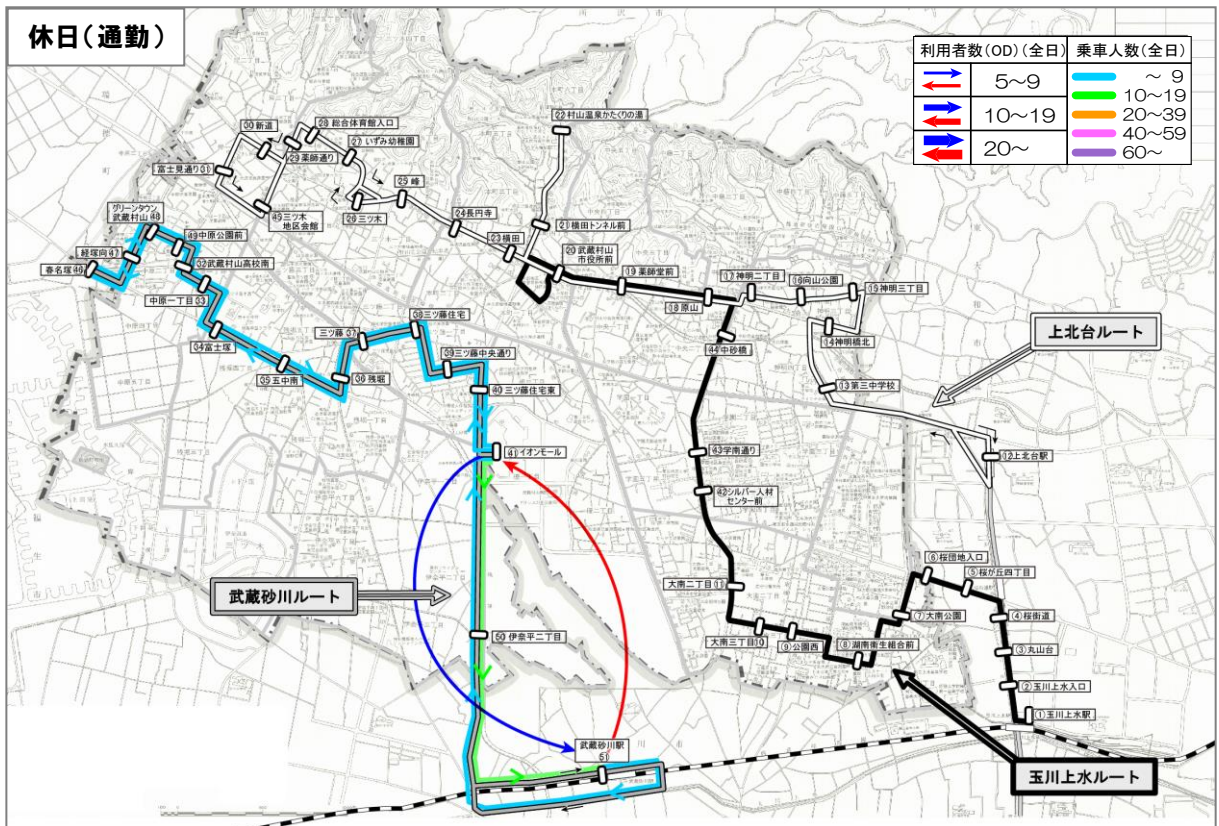
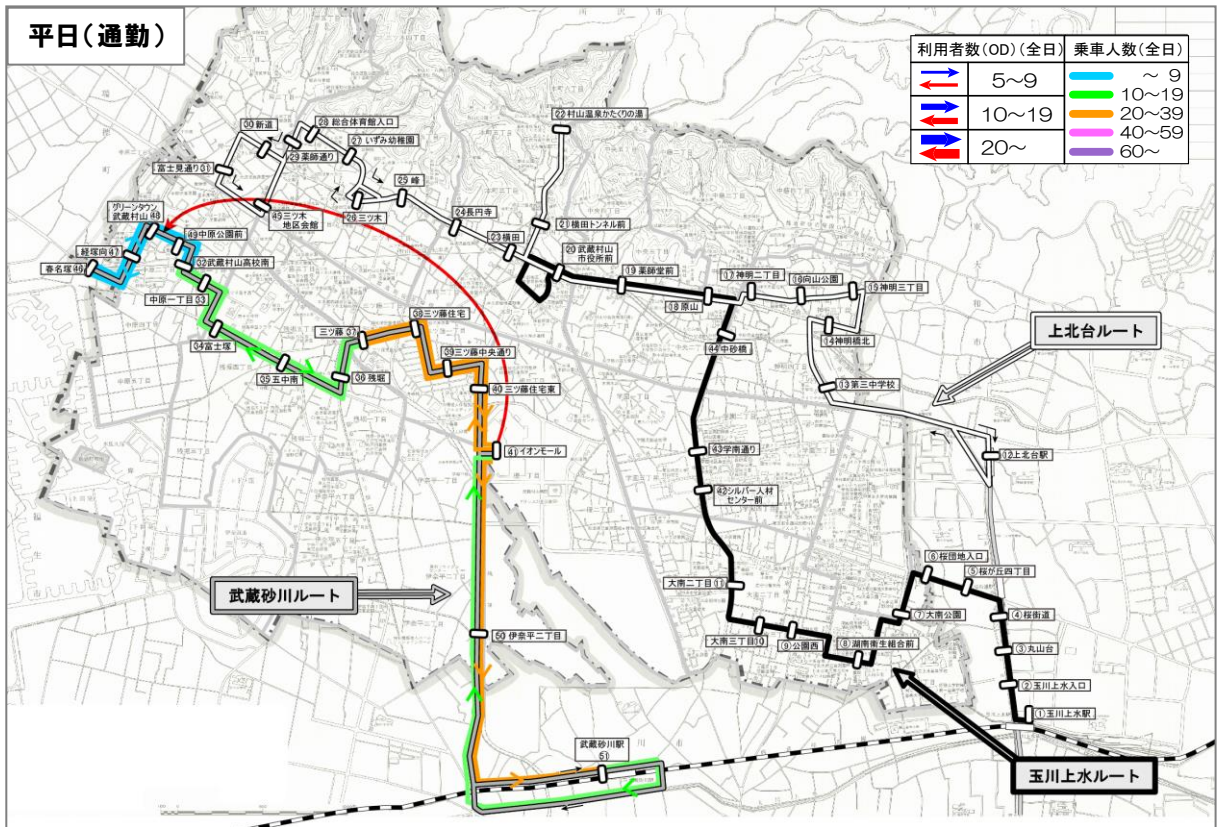


休日の通勤時の利用は少なく、5人以上の利用はみられない。日中時では、武蔵村山市役所前、玉川上水駅での乗降が多く、特に村山医療センターから玉川上水駅、村山団地から武蔵村山市役所前の利用が多くなっている。



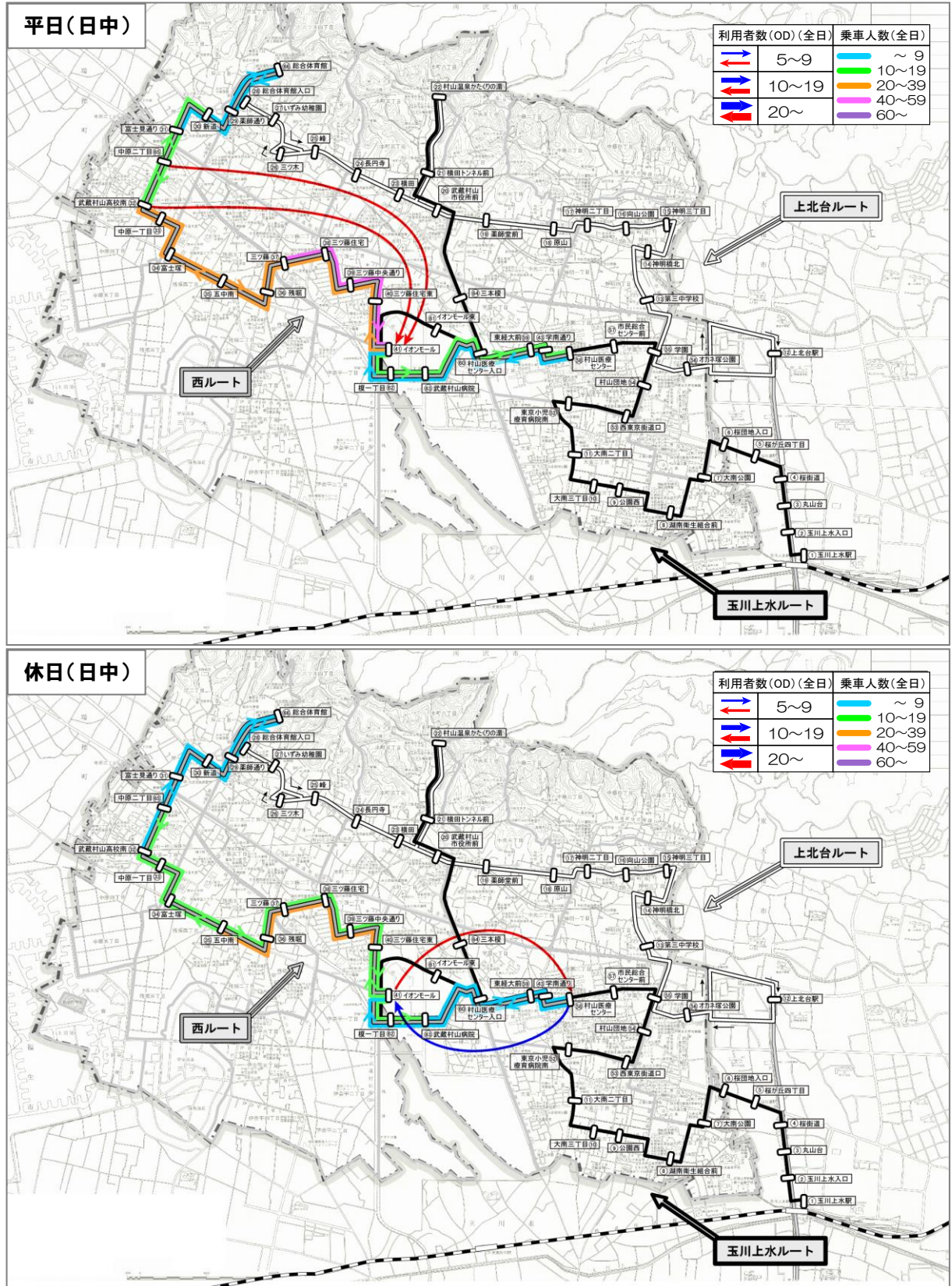
③ 武蔵砂川ルート

平日、休日ともに利用者が少なく、5人以上の利用は平日ではイオンモールからグリーンタウン武蔵村山、休日では武蔵砂川駅とイオンモール間のみである。



④ 西ルート

平日休日ともに利用者が少なく、利用者が5人以上である利用はイオンモールでの乗降のみである。平日では、中原二丁目からイオンモール、武蔵村山高校南からイオンモールの利用、休日では、村山医療センターとイオンモール間での利用が多くなっている。



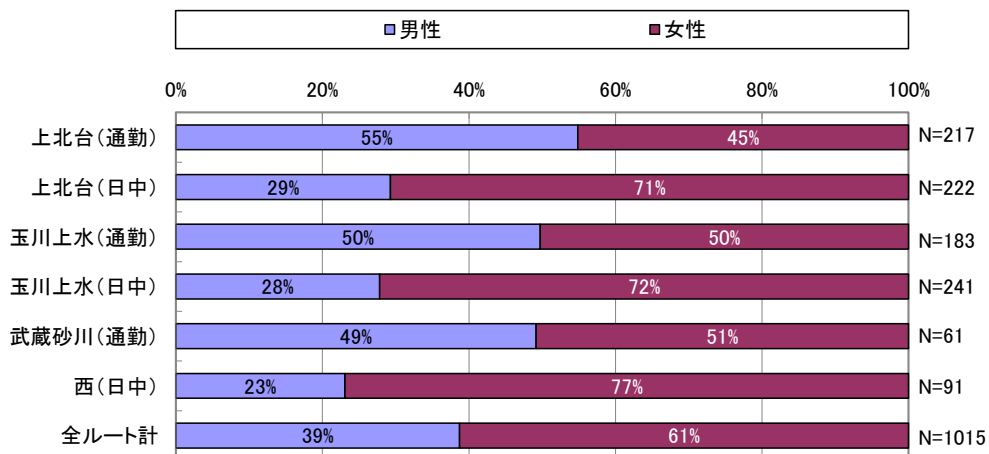
3.3 利用者の属性

1) 性別

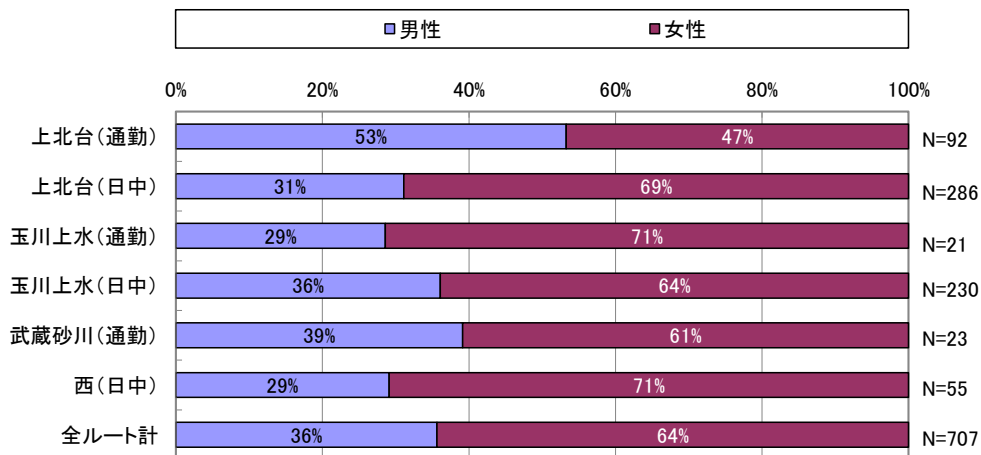
平日全体での利用者は女性が多く、60%以上を占めているが、通勤時ルートでは男性の利用者が半数程度となっている。

休日全体でも同様に女性が多く、60%以上であるが、上北台（通勤）ルートでは男性の割合のほうが高く半数以上を占めている。

性別【平日】



性別【休日】

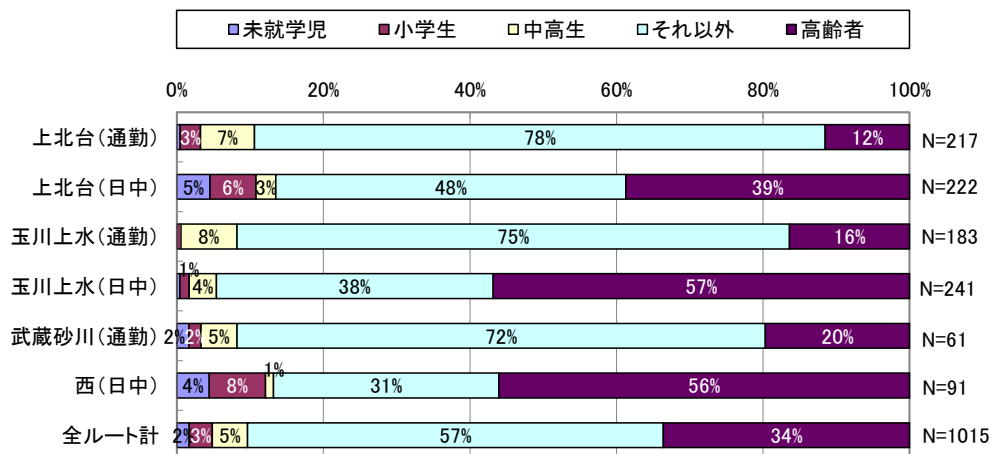


2) 年齢

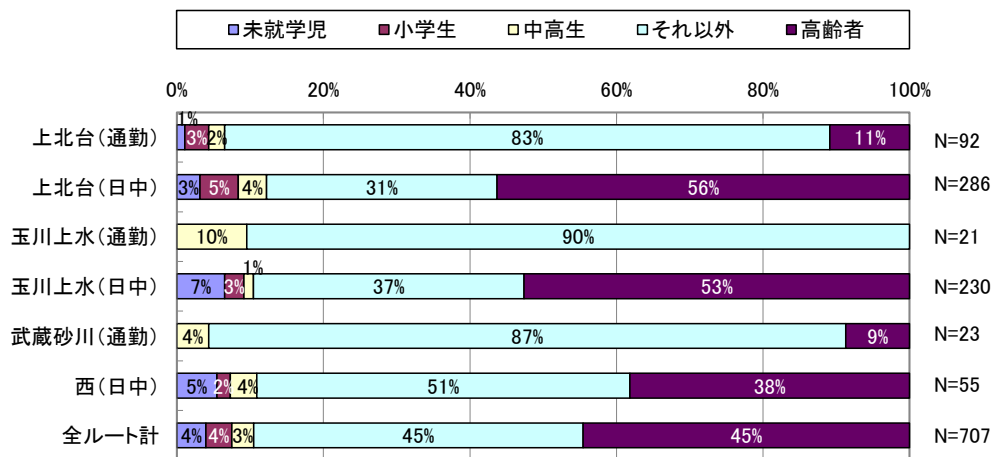
平日では、全体で見ると高齢者の割合が 30%以上を占めているが、通勤時は少なく各ルートとも 20%以下であり生産年齢（それ以外）の利用者が多い。日中は高齢者の利用が多くなっており、玉川上水ルート、西ルートでは半数以上を占めている。

休日では、平日と比べて全体での高齢者の割合が高くなっている。特に、上北台（日中）ルートでは半数以上が高齢者となっている。

年代【平日】



年代【休日】

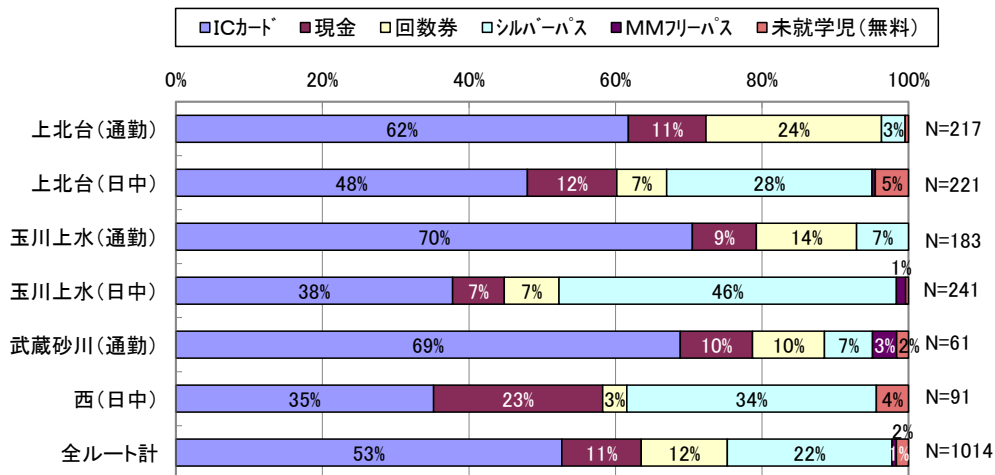


3) 運賃の支払い方法

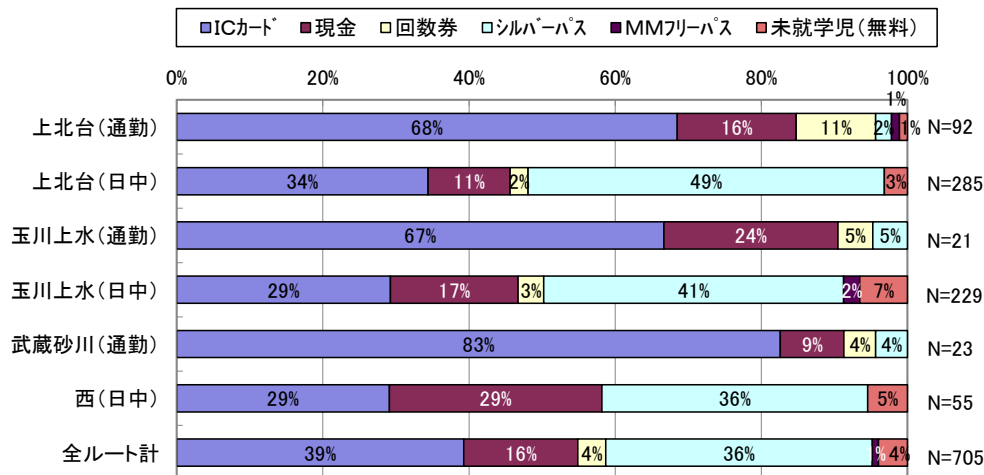
全体での結果を平日と休日で比較すると、平日のほうが休日に比べて IC カード、回数券での支払いが多く、シルバーパスの利用が少なくなっている。

ルート別では、平日、休日ともに通勤時のほうが IC カード、回数券の利用が多く、シルバーパスの利用が少ない。

運賃の支払い方法【平日】



運賃の支払い方法【休日】



4 各ルートの状況

市内循環バス全体および各ルートに対する利用状況や満足度、改善要望として特徴的なものは以下のとおり。

ルート	利用状況	満足度	改善要望
全体	<ul style="list-style-type: none"> 通勤時ルートでは、通勤目的で若い世代に利用されているが、日中時ルートは高齢者の利用が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> H23 調査時と比べて、運賃の満足度が向上しているが、その他項目では大きな変化はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 休日の運行本数の増加、終発を遅くしてほしいとの要望が高い。
上北台	<ul style="list-style-type: none"> 通勤時、日中時ともに一定の利用者が存在。収支率は26%と全ルート平均より高い。 上北台駅での利用が多く、神明地区や武蔵村山市役所、岸地区とのODが多い。 日中時では、村山温泉かたくりの湯への利用も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 平日、休日の運行本数、バス停での待ち時間に対する満足度が低い。 通勤時ルートの利用者の、目的地までのバス路線がないに対する不満が低くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 通勤時ルートの利用者の終発の時間延伸に対する改善要望が高い。
玉川上水	<ul style="list-style-type: none"> 通勤時、日中時ともに一定の利用者が存在し、収支率は29%と最も高い。 玉川上水駅での利用者が多く、通勤時ではどの地域からも一定の利用がみられ、また日中時は村山医療センターやイオンモールでの利用が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 通勤時、日中時ともに、武蔵砂川ルートに次いで、運行本数に対する満足度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 通勤時、日中時ともに、休日の運行本数の増加に対する要望が他のルートに比べて高い。
武蔵砂川	<ul style="list-style-type: none"> 平日、休日ともに利用者数が少なく、利用者の多くが武蔵砂川駅、イオンモールへ移動。収支率は16%と全ルート平均より低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合満足度が最も低い。 平日の運行本数に対する満足度が特に低い。自宅や目的地からバス停までの距離の満足度が低い。 ルート再編により、目的地への行きやすさについて満足度が向上。 	<ul style="list-style-type: none"> 平日の運行本数に対する要望は他のルートと比べて高い。 駅と公共施設を運行してほしい施設として挙げた割合が高い。
西	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数が少なく、また収支率が9%と最も低い。 利用者の多くがイオンモール、村山医療センターへの移動。 	<ul style="list-style-type: none"> ルート再編により、目的地への行きやすさは他のルートと比べて満足度が向上。 	<ul style="list-style-type: none"> 平日、休日の運行本数に対する改善要望が他のルートに比べて低い。